



Ultraシリーズ
4K UHDワイヤレス
セキュリティカメラシステム
ユーザーマニュアル



目次

1.	Arlo Ultraカメラの紹介	5
	Arloアプリを入手する	5
	Arlo Ultraカメラの紹介	6
	SmartHubの紹介	7
	Arloを最大限に活用する	7
2.	はじめに	8
	SmartHubをインターネットに接続	8
	SmartHubのLED	8
	Arloアプリを使用してインストールおよびセットアップする	9
	カメラにバッテリーを挿入する	9
	カメラのバッテリー	10
	Arlo UltraカメラのLED	12
	WiFiパフォーマンスを最適化するためのヒント	12
	マグネット式マウント	13
	Arlo屋外用マウントの取り付け	14
	Arloソーラーパネル (別売) にカメラを接続する	15
	Arlo Ultraカメラの視野	15
	特定の領域の動作を検知するようにカメラを設置する	16
	動作検知のテスト	17
	カメラに動作検知を設定する	17
3.	Arlo Ultraの基本	18
	カメラフィールドの表示	19
	ビデオのプレ録画	20
	ライブビデオからクリップを録画する	20
	ライブビデオからスナップショットを撮影する	21
	音声通信	21
	カメラのスポットライトをオン/オフする	21
	カメラの警報音をオン/オフする	22
	カメラフィールドイメージをカスタマイズする	22
	動作検知アクティビティゾーン	23
	録画とスナップショットを見る	24

録画のダウンロード.....	26
4. 画質機能	28
ハイダイナミックレンジ (HDR).....	28
ローカル4Kストリーミングと録画.....	28
HEVC 4K再生対応デバイス.....	29
4Kストリーミングの開始.....	29
自動ズームおよび追跡.....	31
5. モード、ルール、アラート	33
モード.....	33
モードの選択.....	34
通知をミュートする.....	34
モードのルール.....	35
動作検知の感度を変更する.....	35
動作が停止したら録画を自動的に停止する.....	35
夜間の動作検知時にスポットライトを点灯するかどうかを制御する.....	36
音声感度を変更する.....	36
アラートを管理する.....	37
カメラルールをスケジュールする.....	37
Arloジオフェンスをセットアップする.....	38
複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する.....	41
カスタムモード.....	42
Ultraカメラで音声アラームを検出する.....	43
6. 設定を変更する	48
2段階認証.....	48
顔認証または指紋認証を使用する.....	50
プロファイルのカスタマイズ.....	51
Arloパスワードの変更.....	51
忘れたパスワードのリセット.....	52
友人にアクセス権を付与する.....	52
タイムゾーンを変更する.....	54
カメラ設定.....	54
カメラのスポットライト設定のカスタマイズ.....	57
デバイス情報を確認する.....	59

アカウントからデバイスを削除する.....	59
7. SDカードストレージの使用	60
microSDカードの挿入.....	60
SDカードのステータスの表示.....	61
利用可能なSDカードストレージの表示.....	61
SDカードへの録画のオン/オフ切り替え.....	61
ローカル4K録画のオン/オフ切り替え.....	61
SDカード上書き設定の変更.....	62
microSDカードのフォーマット.....	62
SDカードを安全に取り出す.....	62
microSDカードのビデオの表示.....	63
8. Arlo Connect	64
Amazon AlexaでArloを使用する.....	64
ArloをAppleのホーム Appに追加する.....	65
Arlo UltraカメラをGoogleアシスタントアプリに接続する.....	67
IFTTTでArloを使用する.....	67
9. FAQとトラブルシューティング	68
FAQ.....	68
電池に関するFAQ.....	69
アクティビティゾーンとCVRが機能しない.....	70
Arloジオフェンスのトラブルシューティング.....	71
ブラウザでビデオストリームを見ることができない.....	71
WiFi信号の干渉.....	72
プッシュ通知を受け取れない.....	72
Arlo Smartアラーム検知が機能しない.....	74
Arlo SmartHubがオンラインであることを確認する.....	74
SmartHubがオフラインです.....	74
Arlo SmartHubを出荷時の設定にリセットする.....	76
10. 充電式電池の安全性	77
充電式電池の安全な取り扱いと使用に関するガイドライン.....	77

1. Arlo Ultraカメラの紹介

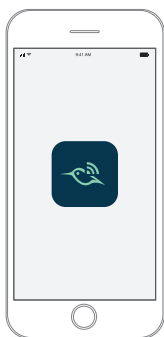
Arlo Ultra 4Kワイヤレスカメラは、高度なビデオおよびオーディオ品質により最高レベルの安心感を提供します。このカメラは広いパノラマビューを表示し、カラー夜間撮影機能も強化されています。一体型のスポットライトが夜間にライトアップし、迷惑な訪問者を撃退するのに役立ちます。また、高度なノイズキャンセリング技術により、背景雑音が最小限に抑えられ、鮮明な双方向通話を実現されます。

カメラが動作を検知すると、Arlo SmartHubへのWiFiリンクを使用して、クラウドのArloアカウントにビデオをストリーミングします。



Arloアプリを入手する

Arloアプリをダウンロードします。Arloアプリを使用すると、クラウドでArloアカウントを作成し、すべてのArloデバイスを設定して管理できます。



メモ: Arloアプリを既に使用している場合は、必ず最新バージョンを使用していることを確認してください。アップデートがあるかどうかは、アプリストアにアクセスして「Arlo」を検索すると確認できます。

Arlo Ultraカメラの紹介

Arlo Ultraカメラは、カバーとカメラ (バッテリー収納部を含む) の2つのパーツで構成されています。



Arlo Ultraカメラの機能

- **4KとHDR。** Arlo Ultraカメラの高性能レンズを通して、細部まで鮮明な画像を確認できます。
- **夜間撮影機能の強化。** 潜んでいるものをカラー夜間撮影機能で確認し、従来のモノクロではなくカラーのビデオを確認できます。
- **一体型スポットライト。** Arlo Ultraカメラの一体型スポットライトを使用して、夜間にライトアップしたり、迷惑な訪問者を撃退したりします。
- **180°の視野。** 魚眼効果を低減する自動画像補正機能を備えたフルパノラマビューを確認できます。カメラには、動作検知に適した広い範囲をカバーする180°の視野があります。
- **ノイズキャンセリング技術。** 風や雑音を低減する明瞭な完全双方向音声により、訪問者と音声通信できます。
- **自動ズームおよび追跡。** 動いているものに明瞭かつ詳細にオートフォーカスできます。
- **マグネット式充電機能。** カメラをすばやく充電し、また接続ケーブルを所定の位置に簡単にはめ込むことができます。
- **カスタムアクティビティゾーン。** 特定の焦点領域を作成して、誤ったアラートを減らすことができます。
- **内蔵スマート警報。** イベント発生時に、リモート/自動で警報を鳴らすことができます。
- **充電式バッテリー。** 便利で長持ちするバッテリーでセキュリティの費用を節約します。

SmartHubの紹介

Arlo SmartHubは、ルーターに安全なパーソナルネットワークを追加することで映像を保護できます。SmartHubはまた、WiFiトラフィックを調整したり、バッテリー寿命を向上させるのに役立ち、ローカルストレージ (microSDカードは別売) を備えています。

Arlo SmartHubは、Arlo Ultraや従来のすべてのArloワイヤレスカメラと互換性があります。



Arlo Smart Hubの機能は、次の通りです。

- スマートセキュリティエコシステムを構築する追加の無線LAN。
- 他のスマートホームデバイスと連携し、簡単に統合できます。
- ストリーミングコンテンツのローカルストレージ用のmicroSDカードスロット。
「microSDカードの挿入」(60ページ)を参照してください。

Arloを最大限に活用する

次のArlo Ultraオプションを追加できます (別売り)。

- **追加のArlo Ultraカメラ。** カメラを追加し、SmartHubとペアリングすることで、家の中や周辺のさらに広い範囲をカバーできます。
- **Arloソーラーパネル。** ArloソーラーパネルをUltraカメラに接続して、太陽光のエネルギーでArlo Ultraバッテリーを充電します。「Arloソーラーパネル (別売) にカメラを接続する」(15ページ)を参照してください。
- **Arlo充電式バッテリー。** フル充電された予備バッテリーを用意できます。
- **Arloデュアル充電ステーション。** 予備のArlo Ultraカメラバッテリーを充電します。「Arlo Ultraデュアル充電ステーション (別売) でバッテリーを充電する」(10ページ)を参照してください。
- **Arloサブスクリプションのアップグレード。** 詳細については、「Arloサブスクリプションプランとクラウド録画の容量について教えてください。」を参照してください。

2. はじめに

SmartHubをインターネットに接続

SmartHubはホームネットワークに接続されるため、どこからでもカメラストリーミングを見ることができます。

1. SmartHubをイーサネットケーブルでルーターに接続します。
2. 電源アダプターをSmartHubに接続し、コンセントに差し込みます。
SmartHubの前面にあるLEDが点灯します。



SmartHubのLED

SmartHubのLEDはSmartHubのステータスを示します。SmartHubのLEDは、最初に電源を入れたときに1回点滅します。その後、LEDは次のように点灯します。

- **青点灯:** SmartHubがインターネットに接続されています。
- **ゆっくり青点滅:** SmartHubがカメラと同期してペアリングする準備ができているか、カメラと接続中です。
- **すばやい青点滅:** SmartHubがカメラとペアリングされました。
- **オレンジ点灯:** エラーが発生したか、接続に問題があります。
- **ゆっくりオレンジ点滅:** SmartHubがカメラに接続できません。カメラが見つからないか、範囲外にあるか、別の接続エラーが発生しました。
- **青とオレンジが交互に点灯:** ファームウェアの更新またはリセットが進行中です。

Arloアプリを使用してインストールおよび セットアップする

Arloアプリを使用して、SmartHubとArlo Ultraカメラをインストールして設定する必要があります。Arloアプリのガイドに従ってセットアップします。

1. Arloアカウントを作成します。
すべてのArloデバイスを管理するには同じアカウントを使用します。
2. Arlo SmartHubをインターネットに接続してアカウントに追加します。
3. 各Arlo Ultraカメラを追加し、Arlo SmartHubとペアリングします。

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットでArloアプリを使用して、またはWebブラウザを使用してPCからArloアカウントにアクセスできます。PCを使用している場合は、ブラウザのアドレス欄に「<https://my.arlo.com/#/login>」と入力します。

インストール後は、Arloアプリを使用して、カメラフィードの表示、アラートと通知のカスタマイズ、カメラのスケジュールの作成などを実行できます。



カメラにバッテリーを挿入する

Arlo Ultraカメラは2つのパーツで構成されています。

- カメラおよびバッテリー。
- カメラのカバー。

メモ: カメラのバッテリーの充電が不十分です。カメラを使用する前に、バッテリーを完全に充電することをお勧めします。「カメラのバッテリー」(10ページ)を参照してください。

バッテリーを挿入するには、次の手順に従います。

1. バッテリーの位置を合わせて、バッテリー収納部に挿入します。
バッテリーは一方向にしか挿入できません。
Arlo UltraカメラのLEDが青で点滅します。
2. 所定の位置にカチッと収まるまで、カメラの左右両側を押し下げてカメラをカバーに挿入します。



バッテリーの取り扱いに関する情報については、「10. 充電式電池の安全性」(77ページ)を参照してください。

カメラのバッテリー

カメラのバッテリーの充電が不十分です。カメラを使用する前に、バッテリーを完全に充電することをお勧めします。カメラをコンセントに接続すると、バッテリーが充電されます。

カメラのバッテリーを充電する

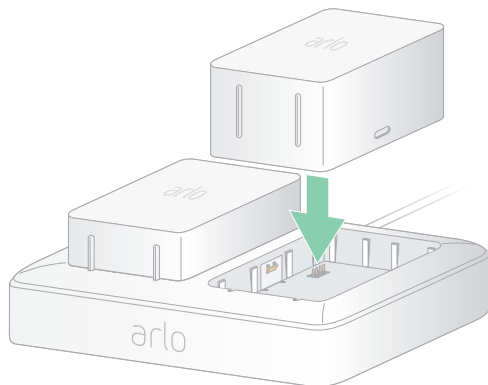
1. マグネット式電源ケーブルをカメラの電源入力にはめ込みます。
2. 電源アダプターを電源ケーブルに接続し、コンセントに差し込みます。



メモ: 予備の充電式バッテリーを購入し、Arloデュアル充電ステーション (別売) で充電できます。

Arlo Ultraデュアル充電ステーション (別売) でバッテリーを充電する

Arloデュアル充電ステーションでは、Arlo Ultraカメラ用のバッテリーを1つまたは2つ充電できます。



充電ステーションでバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 電源アダプターを充電ステーションに接続します。
2. 電源アダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。
3. 1個または2個のArlo充電式バッテリーを差し込みます。

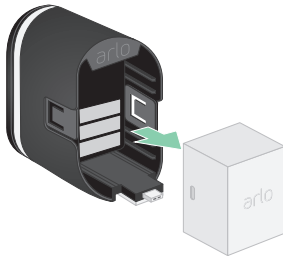
カメラのバッテリー交換

カメラの位置が変わらないように、カメラのカバーを所定の位置に置いたままにしておくことができます。

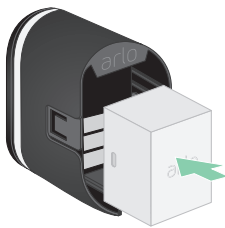
1. Arlo Ultraカメラをカメラのカバーから取り外します。
Arlo Ultraカメラの下にある充電ポートのボタンを押します。カチッという音がして、カメラがカメラのカバーから外れます。
2. カメラのカバーからカメラを完全に引き出します。



3. バッテリーがカメラから外れるまで引き出して、バッテリーを取り外します。



4. バッテリーの位置を合わせて、バッテリー収納部に挿入します。



バッテリーは一方向にしか挿入できません。

Arlo UltraカメラのLEDが青で点滅します。

5. 所定の位置にカチッと収まるまで、カメラの左右両側を押し下げてカメラをカバーに挿入します。



Arlo UltraカメラのLED

カメラの電源がオンになると、カメラのLEDが点灯します。LEDはバッテリーの充電状態に応じて色が変わって点滅し、カメラのペアリングやカメラファームウェアの更新などのアクティビティの状態を示します。

- **ゆっくり青点滅:** カメラはSmartHubとペアリング中です。
- **すばやい青点滅:** カメラがSmartHubとペアリングされました。
- **オレンジ点滅:** カメラが範囲外にあるか、ペアリング中に接続エラーが発生しているか、カメラのバッテリー残量が低下しています (15%以下)。
- **青とオレンジが交互に点灯:** カメラがSmartHubとのペアリングに失敗したか、ファームウェアが更新中であるか、リセットが進行中です。

WiFiパフォーマンスを最適化するためのヒント

SmartHubへのWiFi信号が良好な場所にArlo Ultraカメラを配置します。WiFiデバイス間の距離は、WiFi信号に影響を与える可能性があります。

- **最大推奨距離。** カメラをSmartHubから最大90 m以内に設置してください。通信可能な最大距離は90 mですが、カメラとSmartHubの間に壁や天井など大型の障害物があると、その距離は短くなります。
- **最小推奨距離。** WiFi干渉を低減するには、SmartHubをWiFiルーターから1.8 m離してください。Arlo UltraカメラをSmartHubから3 m離れた場所に置き、カメラ間の距離は2 m以上にしてください。

次の資材が、SmartHubやArlo UltraカメラなどのWiFiデバイス間にあると、WiFi信号強度が低下する可能性があります。

- 厚い壁や天井
- レンガ
- コンクリート
- 岩
- セラミック
- ガラス、鏡
- 金属
- 大量の水(水槽や貯水タンクなど)

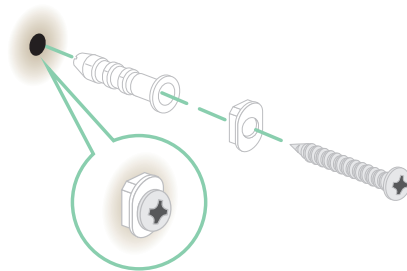
複数のArlo Ultraカメラで4Kストリーミングを最適化する方法については、Arloサポート記事 (<https://kb.arlo.com/000062190/How-can-I-reduce-connectivity-issues-when-I-live-stream-in-4K-on-multiple-cameras>) を参照してください。

マグネット式マウント

Arlo Ultraシステムには、どこにでもカメラをマウントできるマグネット式マウントが付属しています。また、マウントには、ケーブルを隠したり、カメラを取り付けて壁コンセントに差し込んだままにしておく場合にストレインリリーフを実現できる溝が組み込まれています。

マグネット式マウントの取り付け

1. マウントの高さが1.9 m以内になる場所を選択します。*
2. 取り付けネジを壁に固定します。
乾式工法の壁に設置する場合は、付属のプラスチック製の乾式工法壁用アンカーを使用してください。
プラスチック製のストッパーを使用すると、壁にねじ込む深さを調整できます。
3. Arlo Ultraカメラに充電ケーブルが接続されている場合は、余分な充電ケーブルをマウントの背面に巻き付けます。
4. マグネット式マウントをネジとストッパーにはめ込みます。
カチッと音がして、マウントが所定の位置に固定されます。
5. Arlo Ultraカメラを壁掛け用マウントに取り付けます。
マウントのマグネットがカメラをマウントに固定します。
6. Arlo Ultraカメラを好みの視野角に調整します。



メモ: Arlo Ultraカメラのバッテリーは、カメラのカバーを屋内壁掛け用マウントから取り外さなくても交換できます。

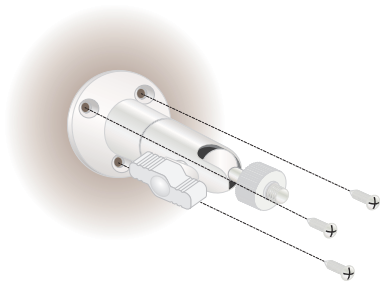
*2 m以上の場合は、Arlo屋外用マウントを使用することをお勧めします。

Arlo屋外用マウントの取り付け

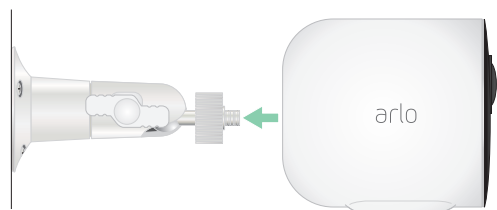
一部のArlo Ultraキットには屋外用ネジ式マウントが含まれています。ネジ式マウントは別売りもされています。

1. 屋外用マウントを設置し、ネジで固定します。

乾式工法壁にカメラを取り付ける場合は、弊社が提供する乾式工法壁用アンカーを使用します。



2. カメラをマウントに取り付けます。



3. カメラの角度を調整します。



Arloソーラーパネル (別売) にカメラを接続する

Arloソーラーパネルを使用すると、太陽光のエネルギーでArlo Ultraカメラのバッテリーを充電できます。ソーラーパネルには、マウントと取り付け用ネジが付属しています。

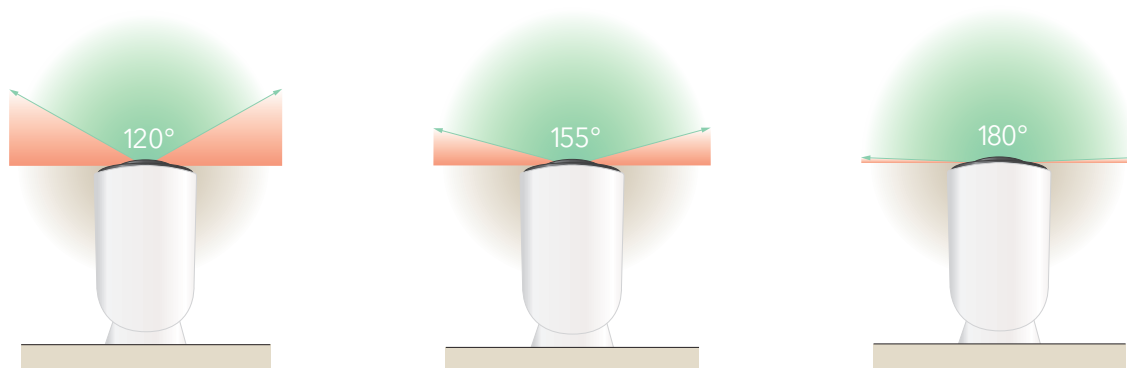


ソーラーパネルをArlo Ultraカメラに接続します。

1. カメラの近くにソーラーパネルのマウントを取り付けます。
2. マウントにソーラーパネルを取り付けます。
3. カメラをソーラーパネルの電源ケーブルに接続します。

Arlo Ultraカメラの視野

視野は、カメラが動作を検知できる領域です。視野は [フル] (120°)、[ワイド] (155°)、または [スーパーワイド] (180°) に設定できます。



各視野設定で画像が自動補正され、魚眼効果が低減されます。[フル] 設定では魚眼効果が完全に排除されます。

視野の変更

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. カメラを選択します。
4. [ビデオの設定]>[ビデオモード] をタップします。
5. 視野をタップすると、自動的にカメラに適用されます。

特定の領域の動作を検知するようにカメラを設置する

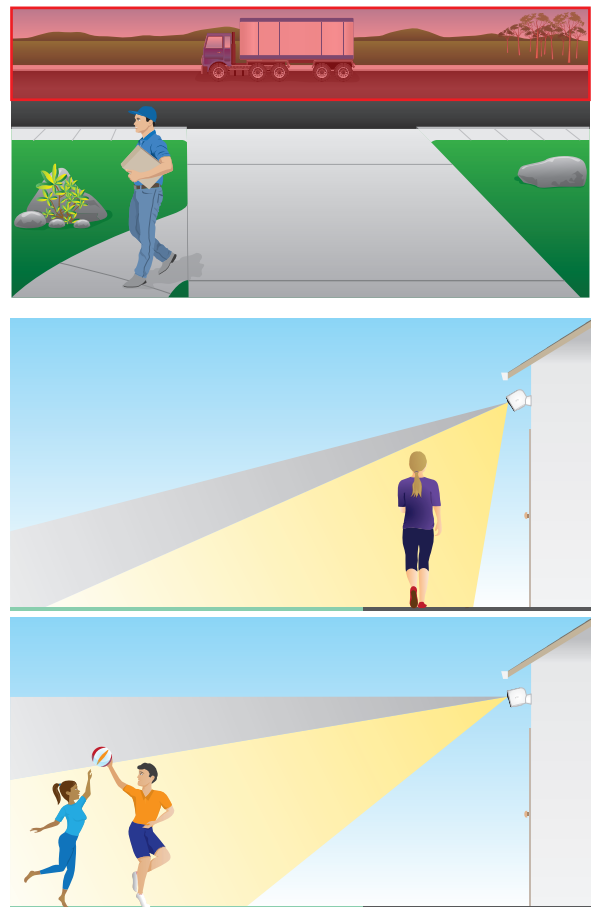
Arlo Ultraカメラをさまざまな方法で取り付けて位置を調整することで、特定範囲の動作を検出するカメラの機能を最適化することができます。カメラの視野角の下3分の2は、動作を検知しやすい部分です。検知したい動作が画像のこの部分に表示されるようにカメラの位置を調整してください。

玄関にいる訪問者など、カメラの近くで起こる動作を確認する場合は、カメラを1.9 m以上の高さ^{*}に設置する必要があります。

この角度は、通り過ぎる車両など、画像の上3分の1での動作に対する動作検知アラートを防ぐのに適しています。

外で遊んでいる子供など、遠くで発生している動作を確認する場合は、カメラの向きが高くなるように調整して、画像の下3分の2にそのエリアが入るようにします。

カメラに直接近づく動きや遠ざかる動きではなく、視野を横切る動きになるようにカメラの位置を調整することをお勧めします。また、カメラは最大7.6 m離れた場所の動作を検出できますが、動作検知に最も適した領域は、カメラから1.5~6 mの範囲です。



^{*}2 m以上の場合は、Arlo屋外用マウントを使用することをお勧めします。

カメラの配置調整を使用してカメラの照準を合わせる

カメラの位置調整ができるのは、カメラがストリーミングしていないか、動作を記録していないか、動作検知テストを使用していない場合のみです。カメラの位置決め中、カメラはバッファリングなしで可能な限り速くビデオをストリーミングします。スマートフォンを見ながら、カメラの位置をほぼリアルタイムで調整しながら、カメラの照準を合わせることができます。つまり、カメラを位置決めしている間は、ビデオの画質が低下する可能性があります。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]>[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[デバイスユーティリティ]>[カメラの設置場所]** をタップします。
カメラがビデオのストリーミングを開始します。信号強度バーは、Arlo Ultraカメラが現在の位置で受信しているWiFi信号を示します。

動作検知のテスト

動作検知テストを使用して、各カメラに適した動作検知の感度設定を見つけることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]>[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[デバイスユーティリティ]>[動作検知テスト]** をタップします。
5. カメラの前面に移動します。
このテスト中は、動作が検知されると、カメラのLEDがオレンジ色で点滅します。
6. スライダーを動かして、必要に応じて動作検知感度のレベルを調整します。
7. カメラのルールを編集して、使用する動作検知感度レベルを入力します。「動作検知の感度を変更する」(35ページ)を参照してください。

カメラに動作検知を設定する

モードを選択して、カメラが動作を検知するときとその動きを記録して警告を発するために使用するルールを制御します。Arloアプリには、[警戒]、[待機]、[スケジュール]、[ジオフェンス]の4つのモードがあります。各モードをカスタマイズしたり、カスタムモードを作成したりできます。この実行方法については、「5. モード、ルール、アラート」(33ページ)を参照してください。


3. Arlo Ultraの基本

Arloアプリを開くと、[デバイス] ページにカメラフィールドが表示されます。





カメラアイコン	各カメラフィールドの下に表示	カメラフィールドアイコン	カメラフィールドをタップして、次のアイコンを表示
	バッテリー充電		再生/停止
	SmartHubからのWiFi信号		消音する
	音声検知がオン		音声通信
	動作検知がオン		ビデオを手動で録画する
	タイムラインビュー (CVR契約ユーザー用) を選択するか、カメラのデバイス設定を変更する		スナップショットを撮影
	カメラ設定を表示または変更する		カメラのスポットライトをオン/オフする

カメラフィードの表示

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードをタップします。
カメラフィードが更新され、カメラフィードアイコンが表示されます。
3. ライブフィードの視聴を停止するには、**[停止]** アイコン  をタップします。

ローカル4Kライブストリーミング

Arlo SmartHubと同じローカルネットワーク上にあるモバイルデバイスでArloアプリを使用すれば、Arlo Ultraから4Kでライブストリーミングできます。Arlo Ultraビデオ設定で4Kライブストリーミングを有効にして、Arloアプリのカメラストリーミングで**[再生]**  をタップすると、4Kライブビデオがストリーミングされます。また、**[再生]** ボタンをタップしてから **[録画]**  をタップすると、手動で4Kで録画することもできます。

ローカル4Kライブストリーミングを有効にするには:

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. **[ローカル4Kライブストリーミング]** をタップして、ライブストリーミングのオン/オフを切り替えます。

ビデオのパン/ズーム

ライブビデオまたは録画ビデオをパンまたはズームすると、高解像度で映像の特定部分を確認できます。スマートフォンの写真で見るときのように、ピンチとドラッグで映像を操作してください。


1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. Arloライブラリから任意のライブビデオまたは録画したビデオをタップします。
4. モバイルデバイスを使用してパンまたはズームします。
 - ビデオをピンチしてズームイン/ズームアウトします。
 - ズームインしたフレームをタッチアンドドラッグすると移動できます。

5. PCを使用してパンまたはズームします。
 - **[ズーム]** アイコンをクリックします。
 - マウスを使ってフレームを移動します。

スマートズームによるライブビデオのパン/ズーム

ライブストリーミング録画を表示しているときに、スマートズームを使用すると、録画の任意の領域を最大8倍まで拡大できます。ズームインした領域の画質が低下することではなく、ズームインした画像を1080pのビデオ解像度で表示できます。

スマートズームが有効になっている場合は、Arlo Ultraカメラが視野内で動体を検知すると、被写体をズームインしてその動きを追跡できます。スマートズームを使用するにはArlo Smartプランが必要です。カメラごとにオンにする必要があります。「**[自動ズームおよび追跡] をオンにする**」(55ページ)を参照してください。



1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードで**[再生]**  をタップします。
 モバイルデバイスでは、ピンチジェスチャーを使用してズームし、ズームインしたフレームをタッチアンドドラッグして移動します。
 コンピュータ上で、**[クリックしてズーム]** をダブルクリックします。ズームインしたフレームを左クリックしたままドラッグして移動します。
 ズームインすると、画像が停止して約5秒間バッファリングされるため、ビデオの画質が向上します。バッファリングが停止すると、ズームインしたビデオが高画質でレンダリングされます。

ビデオのプレ録画


電源に接続すると、Arlo Ultraカメラの録画が継続されますが、動きが検知されない場合、3秒後にビデオが破棄されます。これにより、動作を検知する前に、録画が開始されるため、動作の一部始終を録画できます。

1. Arlo Ultraカメラを接続します。
2. カメラが**[警戒]**などの動作検知モードを使用していることを確認します。

ライブビデオからクリップを録画する

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[録画]**  をタップして録画を開始します。
このアイコンが赤色になり、ビデオ録画を開始します。
4. 録画を停止するには、**[録画]**  をもう一度タップします。


ライブビデオからスナップショットを撮影する

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[スナップショット]**  をタップします。
スナップショットはライブラリに保存されます。

音声通信

Arlo Ultraカメラには、音声通信を可能にするマイクが搭載されています。カメラの2つのマイクは、音の空間フィルタリングのためにビームフォーミングを使用します。これにより、カメラは特定の領域または被写体からの音に焦点を合わせることができます。また、マイクはノイズキャンセリングや風によるノイズの低減にも対応しています。風によるノイズの低減設定の詳細については、「[SmartHubの設定を変更する](#)」(58ページ)を参照してください。

音声通信の使用



1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィードイメージをタップします。
3. **[音声通信]**  をタップします。
4. 初めて [音声通信] を使用するときは、Arloが電話機のマイクを使用できるようにします。
5. マイクボタンをタップします。
双方向音声自動的に開始され、音声通信が可能になります。

カメラのスポットライトをオン/オフする


夜間はArlo Ultraスポットライトを使用してビデオの品質を向上させることができます。カメラが [警戒] モードで、夜間に動作を検知すると、スポットライトが自動的に点灯します。スポットライトの動作を調整したり、オン/オフを切り替えたりすることもできます。

カメラフィードからスポットライトをオン/オフする

1. Arloアプリを起動します。

2. カメラフィードをタップします。
 3. **[スポットライト]**  をタップします。
 4. 明るさを調整するには、このアイコンを長押ししてスライダーを調整します。
 5. スポットライトをオフにするには、**[スポットライト]**  をタップします。
- スポットライトの設定をカスタマイズする方法については、「カメラのスポットライト設定のカスタマイズ」(57ページ)を参照してください。

カメラの警報音をオン/オフする

1. Arloアプリを起動します。
2. 右上の**[警報音]**  をタップします。
3. **[警報音を有効にする]** をタップします。
複数のArlo Ultraカメラがある場合は、1台を選択するように要求されます。
4. 警報音アイコンを右にスワイプします。
カメラの警報音が鳴るようになります。
5. 警報音をオフにするには、[デバイス] ページの上部にあるスライダーをタップします。

カメラフィードイメージをカスタマイズする

複数のカメラを使用する場合は、[デバイス] ページにカメラフィードが表示される順序を変更できます。カメラフィードイメージをズーム、反転、または回転することもできます。

カメラの順序を変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[デバイスの順番]** をタップします。
4. スマートフォンまたはタブレットを使用している場合は、ページ上部の**[編集]** をタップします。
リストアイコンが表示されます。
5. リストアイコンを長押しして、各デバイスをリスト上の正しい位置にドラッグします。
6. **[保存]** をタップします。

カメラフィードを反転する

カメラ画像を反転できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. 画像を回転します。


iOSデバイスを使用している場合は、**[画像を180°回転]** をタップします。

Androidデバイスを使用している場合は、スライダーをタップして**[オフ]**にしてから画像を回転します。


動作検知アクティビティゾーン

カメラビュー内で、カメラが動作を検知して録画するゾーンを指定できます。ゾーンを作成したら、動体を検知するゾーンを選択できます。

アクティビティゾーンの追加

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[ビデオ]** で **[アクティビティゾーン]** をタップします。
5. **[+]** をタップします。
カメラフィードイメージにアクティビティゾーンボックスが表示されます。
6. ゾーンをカメラフィード画像内の目的の位置に移動します。
7. ゾーンのサイズまたは形状を変更するには、ゾーンの端にある8つのポイントをドラッグします。
8. ゾーン的位置を変更するには、ゾーンを長押しして移動します。
9. ゾーン名をカスタマイズするには、**[編集]**  をタップして名前を入力します。
Webブラウザを使用している場合は、ゾーン名の横にある **[>]** をクリックします。
10. **[保存]** をタップします。

アクティビティゾーンの変更

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[ビデオ]** で **[アクティビティゾーン]** をタップします。
5. ゾーンをタップして選択します。
6. ゾーンをカメラフィールド画像内の目的の位置に移動します。
7. ゾーンのサイズまたは形状を変更するには、ゾーンの端にある8つのポイントをドラッグします。
8. ゾーン的位置を変更するには、ゾーンを長押しして移動します。
9. ゾーン名をカスタマイズするには、**[編集]**  をタップして名前を入力します。
Webブラウザを使用している場合は、ゾーン名の横にある **[>]** をクリックします。
10. **[保存]** をタップします。

アクティビティゾーンの削除

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[ビデオ]** で **[アクティビティゾーン]** をタップします。
5. ゾーンをタップして選択します。
6. デバイスを削除します。
iOSデバイスでは、動作検知ゾーンを左にスライドさせて **[削除]** をタップします。
Androidデバイスでは、動作検知ゾーンを左にスライドさせます。

録画とスナップショットを見る

Arlo Ultraカメラでは、録画とスナップショットがライブラリに保存されます。フィルターとカレンダーを使用して特定の録画を検索して見ることができます。

クラウド録画にアクセスする

Arlo Ultraカメラが録画するのは、警戒モードで動体や音を検知したときです。Arloの録画はクラウドのArloアカウントに送信され、ライブラリに保存されます。録画はユーザー名とパスワードで暗号化されます。

録画にアクセスするには、モバイルデバイス上でArloアプリを使用するか、Webブラウザを使って <https://my.arlo.com/#/login> にアクセスします。録画はクラウドからダウンロードして保存できます。

ライブラリを使用する

ライブラリを使用して日付ごとに録画を検索して見ることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画を開始してから1か月を超えた場合は、月の左右にある矢印を使って表示する月を選択します。
緑色の丸は、選択した日を示します。日付の下にある緑色のドットは、ビデオクリップが録画された日を示します。
4. 強調表示された日付をタップします。
その日の録画がカレンダーの下に表示されます。

フィルターを使用する

フィルターを使用して、選択した条件により録画を検索して見ることができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. ページの左上隅にある **[フィルター]** をタップします。
4. 使用するフィルタリング条件をタップします。
5. **[完了]** をタップします。

フィルターを無効にする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. ページの左上隅にある **[フィルター]** をタップします。

4. **[リセット]** をタップします。
5. **[完了]** をタップします。

録画のダウンロード

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画をタップします。
4. **[ダウンロード]** をタップします。
5. 確定するには、**[OK]** をタップします。

録画をお気に入りにする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画をタップします。
4. **[お気に入り]** をタップします。

録画を共有する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画をタップします。
4. **[共有]** をタップします。
5. ファイルを共有します。

研究活動のために録画を提供する

Arlo製品の研究開発に役立つように、Arloにビデオファイルまたはスナップショットファイルを提供することができます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画をタップします。

4. **[寄付]** をタップします。
5. 確定するには、**[OK]** をタップします。

録画を削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ライブラリ]** をタップします。
3. 録画をタップします。
4. **[削除]** をタップします。
5. 確定するには、**[OK]** をタップします。

4. 画質機能

ハイダイナミックレンジ (HDR)

HDRは、同じ画像内に明るい部分と暗い部分の両方があるシーンの露出過度または露出不足の画像に関する問題を解決します。Arlo Ultraカメラでは、HDRを使用するタイミングが自動的に決定されます。HDRは屋外環境向けに最適化されています。Ultraカメラは自動的にHDRを使用するように設定されていますが、オンとオフを切り替えることもできます。「自動HDRのオン/オフを切り替える」(57ページ)を参照してください。

ローカル4Kストリーミングと録画

4Kを使用すると、ズームインしてもすべての画像を詳細に確認できます。Arlo Ultraカメラは、16 x 9の縦横比で3840 x 2160の解像度を出力します。

Arlo Ultraカメラは、次の機能を提供しながら4K映像をストリーミングします。

- リアルタイム画像歪み補正を実行する180°対角視野
- リアルタイムハイダイナミックレンジ (HDR)
- 2基のノイズキャンセリングマイクを搭載したスポットライト

Arlo Ultraシステムでは、このような処理をすべて並行してリアルタイムで実行します。カメラとSmartHubの間の効率的なビデオエンコードおよびバッテリー最適化アルゴリズムにより、カメラがバッテリー電源で動作しているときでも4Kで機能できます。

4Kストリーミングを使用するには、Arlo SmartHubとペアリングされたArlo Ultraカメラが必要です。4Kを基本的に使用する場合は、Ultraカメラ1台あたりの平均アップロード帯域幅速度を3 Mbpsにすることを勧めます。

サブスクリプションなしで、4Kコンテンツをストリーミングできます。4Kを使用するには、SmartHubのmicroSDカードにローカルライブストリーミングするか、4K動画コンテンツを録画します。また、4Kのクリップをクラウドに保存するためのアドオンサービスを購入することもできます。動作を検知して撮影されるこのクリップには、データ接続がある場所であればどこからでも簡単にアクセスできます。

HEVC 4K再生対応デバイス

High Efficiency Video Coding (HEVC) は、4Kビデオを簡単にダウンロードしてストリーミングできるビデオ圧縮規格です。ArloアプリでHEVCを使用するには、サポートされているデバイスを使用し、最小要件を満たす必要があります。デバイスの要件:

- iOS 9.0以降を実行している (Appleデバイス)
- Android 5.0以降を実行している (Androidデバイス)
- 最新バージョンのArloアプリ (モバイル用) がインストールされている
- HEVCをサポートするWebブラウザを使用している

メモ: お使いのWebブラウザがHEVCをサポートしているか確認するには、<https://caniuse.com/#feat=hevc> を参照してください。

HEVCは次でサポートされています。

- iPhone 7/7 Plus以降
- iPad Pro以降
- Samsung Galaxy S7/S7 Plus以降
- Galaxy Note 8以降
- Google Pixel/Pixel XL以降
- Huawei P9以降
- Xiaomi Mi 5以降
- LG G5以降
- HTC U10以降
- Sony Xperia X以降
- MOTO Z以降
- OnePlus 3以降

4Kストリーミングの開始

次の場合に、Arlo Ultraカメラから4Kでライブビデオを見ることができます。

- お使いのコンピュータまたはモバイルデバイスが、Arlo SmartHubまたはベースステーションと同じローカルネットワークに接続されている。これにより、4Kコンテンツをライブストリーミングできます。

- SmartHubにmicroSDカードを挿入し、4Kビデオ録画を選択している。これにより、すべての動体イベントを4K画質で録画できます。「ローカル4K録画のオン/オフ切り替え」(61ページ)を参照してください。
- Arloプレミアムビデオアドオンサービスに加入していれば、Arloクラウドに4K画質の動体録画を保存して、モバイルデータ接続があればどこからでもアクセスできます。

ローカルライブストリーミングのオン/オフの切り替え

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. **[ローカル4Kライブストリーミング]** をタップします。
ローカルライブストリーミングのオン/オフが切り替わります。

4Kビデオ録画のオン/オフの切り替え

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]** > **[ストレージ設定]** をタップします。
3. **[4Kビデオ録画]** をタップします。
4K録画のオン/オフが切り替わります。

複数の4Kストリーミングの最適化

Arloアプリで複数の4Kライブストリーミングを実行している場合は、接続の問題が発生することがあります。接続を最適化するには、ネットワーク環境を確認し、必要に応じてArlo Ultraカメラの設定を調整します。

以下の方法でネットワーク環境を確認します。

- モバイルデバイスを使用している場合は、5 GHz WiFi帯でホームルーターに接続していることを確認します。
- Ultraカメラ1台あたりの平均帯域速度が3 Mbps以上であることを確認します。

メモ: インターネット速度を確認するには、www.speedtest.net を参照してください。インターネット速度テストの結果は、トラフィック量の変化によって変わる可能性があります。正確な結果を得るには、速度テストを複数回実行します。

WiFi接続とインターネットの速度を確認しても接続性の問題が解決しない場合は、接続が正常に戻るまで、次の作業を順番に行ってください。

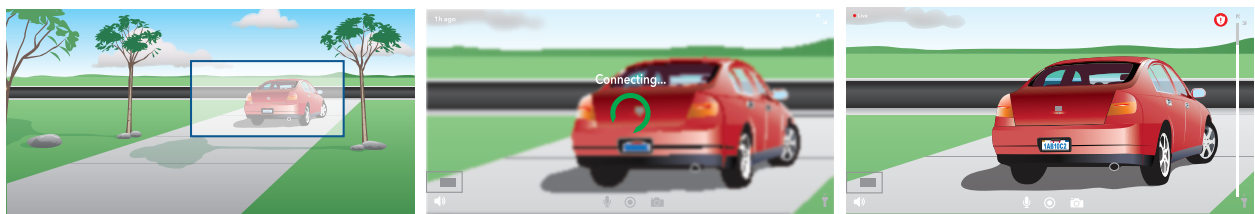
ArloアプリでArlo Ultraカメラの設定を調整するには、次の手順に従います。

1. 各カメラで電源管理設定を **[最適化]** に変更します。
メモ: これは一度に1台のカメラで行います。
「映像品質と電池使用率を変更する」(56ページ)を参照してください。
2. 各カメラで電源管理設定を **[最適な電池寿命]** に変更します。
「映像品質と電池使用率を変更する」(56ページ)を参照してください。
3. microSDカードへの4K録画をオフにします。
「SDカードへの録画のオン/オフ切り替え」(61ページ)を参照してください。
4. 4Kローカルライブストリーミングをオフにします。
「ローカルライブストリーミングのオン/オフの切り替え」(30ページ)を参照してください。

自動ズームおよび追跡

[自動ズームおよび追跡] と [ローカルライブストリーミング] を使用するには、Arlo SmartHubとペアリングされたUltraカメラが必要です。

Ultraカメラが動作を検知すると、クラウドへの動作検知録画が開始されます。[自動ズームおよび追跡] がオンの場合、Ultraカメラは対象物にズームし、その視野内に動作がある間はその動きを追跡します。



ライブストリーミング録画を視聴している場合は、自動ズームおよび追跡録画の任意のポイントをズームできます。Ultraカメラは高度な画像センサーを使用して、ズームインエリアの画質を向上させています。(拡大画像は1080pのビデオ解像度になります。)

Ultraカメラでは、キュレーションされた自動ズームおよび追跡クリップが自動的に作成されます。クリップの [自動ズームおよび追跡] にアクセスするには、Arloアプリで **[ライブラリ]** をタップしてライブラリを表示します。

[自動ズームおよび追跡] をオンにする

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. カメラをタップします。
4. [録画の設定] をタップします。
5. [自動ズームおよび追跡] をタップします。

ライブストリーミング中に [自動ズームおよび追跡] を使用する

1. Arloアプリを起動します。
2. カメラフィールドをタップします。
3. 強調表示する領域をピンチアンドドラッグして、ズームインします。
4. ズームインしたら手を放します。
ライブフィールドのインジケータに、Arloが画像を強調していることが示されます。


5. モード、ルール、アラート

モードとルールでArloシステムを様々な状況に合わせて動作させることができます。例えば、動作を検知したときにビデオを録画し、メールアラートを送信するようにArloシステムを設定できます。


モード


Arloのモードは、これらのケースで適切にカメラをコントロールすることが可能です。例えば、リビングルームにいる間は、リビングルームで発生したイベントに関するアラートを受け取りたくないでしょう。また、外出中にはまた別の動作に切り替える必要があるかもしれません。モードは、時間によってArloカメラの応答を変えることができます。

独自のモードを作成できますが、Arloアプリには次のモードがあります。

 **警戒:** このカメラでは検出がオンです。

 **待機:** このカメラでは検出がオフです。

 **スケジュール:** スケジュールに基づいて検出を管理します。

 **ジオフェンス:** モバイルデバイスの場所に基づいて、特定の場所に到着または離脱するときに、スケジュールモードを有効化、無効化、または再開できます。

[警戒] および [スケジュール] モードをカスタマイズしたり、新しいモードを追加したりできます。一部の動作センサーとカメラがアクティブで他の動作センサーとカメラはアクティブでないモードを作成することもできます。例えば、睡眠中は、屋外のカメラをアクティブにし、屋内のカメラを非アクティブにできます。

メモ: 同じカメラにさまざまなモードを作成できますが、そのカメラで一度に使用できるモードは1つだけです。

モードの選択

モードを選択したり、スケジュールに従ってアクティブにするモードを設定したりできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
モードのリストが表示されます。
4. オンにするモードをタップします。
選択したモードがただちにオンになります。このモードは、変更するまでオンのままです。

通知をミュートする

通知をミュートすると、ビデオの録画中、モバイルデバイスへのプッシュ通知を一時的に消音します。この設定は、友人に通知する必要がない裏庭でのパーティーなどに最適です。

Arloアプリから通知をミュートすることができます。Arlo Smartを使用している場合は、プッシュ通知から直接ミュート通知を有効にすることもできます。

通知をミュートするには、次の手順に従います。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定] > [通知のミュート]** をタップします。
3. 通知をミュートする時間を選択します。
通知をミュートしようとしていることを確認するメッセージが表示されます。通知のミュートのステータスには、通知が再開されるまでの残り時間が表示されます。

通知のミュートを解除するには、次の手順に従います。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定] > [通知のミュート] > [ミュートを解除]** をタップします。
通知のミュートのステータスがオフに変わります。




モードのルール

各モードでは、1つ以上のルールを使用してArloシステムを制御します。次のオプションを設定できます。


- **トリガーとなるデバイス:** トリガーとなるデバイスは、イベントを検知するカメラを指します。動作や音声の感度を調整し、不要なアラートを最小限に抑えることができます。
- **動作させるデバイス:** 動作させるデバイスは、トリガーとなるデバイスの動作検知または音声検知に応答します。例えば、裏庭のカメラで動作を検知し、ドア横に設置したカメラで動画録画を開始することができます。動体や音が検知されたときに、各Arlo Ultraカメラで実行するアクションを決めます。
- **アラート:** イベントが検知されたら、Arloはメールアラートやプッシュ通知を送信できます。メールは、友人や家族、その他アラートが必要な人に送信できます。


動作検知の感度を変更する

ルールを編集して、Arlo Ultraカメラの動作検知の感度レベルを変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
5. ルールの横にある **[編集]**  をタップします。
6. [次の場合] で、**[動作の検知]** の横にある **[編集]**  をタップします。
7. スライダーを動かして、このカメラの動作検知感度レベルを調整します。
PCの場合は **[ルールを編集]** をクリックします。
8. **[保存]** をタップまたはクリックします。

動作が停止したら録画を自動的に停止する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。

5. [次のことをします]の下で、[ビデオの録画]の横にある **[編集]**  をタップします。
6. **[動作イベントが終了するまで録画 (最大300秒)]** を選択します。

夜間の動作検知時にスポットライトを点灯するかどうかを制御する



設定を変更しない限り、Arlo Ultraカメラは夜間に動体を検知すると自動的にスポットライトを点灯します。カメラが動作を検知するのは、[警戒]モードまたは動作検知に関するルールを使用する別のモードになっている場合です。夜間にスポットライトを点灯すると、Arlo Ultraカメラはビデオをカラーで録画できます。

メモ: また、カメラフィールドからスポットライトをオン/オフすることもできます (「カメラのスポットライトをオン/オフする」(21ページ)を参照)。

動作が検知されたときにスポットライトを点灯するかどうかを制御するには、カメラの低光量設定を変更します。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. Arlo Ultraカメラをタップします。
4. **[録画の設定]** > **[低光量設定]** をタップします。
5. **[スポットライト]** をタップして、設定のオン/オフを切り替えます。



音声感度を変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
5. [次の場合] で、**[音声の検知]** の横にある **[編集]**  をタップします。
6. 目的の音声検出レベルまでスライダーを動かします。
PCの場合は **[ルールを編集]** をクリックします。
7. **[保存]** をタップまたはクリックします。

アラートを管理する

モバイルデバイスに通知をプッシュしたり、アラートメールを送信したり、その両方を行ったりできます。Arloの通知を電話機で受信するには、Arloアプリを電話機にインストールする必要があります。

メモ: モバイルデバイスでArloアプリからログアウトした場合、プッシュ通知の受信は停止します。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
メモ: [待機] モードではアラートは送信されません。
5. [アラート] で、**[プッシュ通知]** をタップすると、プッシュ通知のオン/オフが切り替わります。
6. [アラート] で、**[アラートメール]** をタップして、メール通知のオン/オフを切り替えます。
7. メールアドレスを指定するには、[アラートメール] の横にある **[編集]**  をタップして、メールアドレスを入力します。

Arlo Smartアラーム検知については、「[Ultraカメラで音声アラームを検出する](#)」(43ページ) を参照してください。



カメラルールをスケジュールする

カメラを自動的に有効化/無効化するようにスケジュールを設定できます。スケジュールは週単位で繰り返されます。たとえば、火曜日のスケジュールは、スケジュールがオンになっている限り、毎週火曜日に繰り返されます。このスケジュールで自動的に設定されます。

- **月曜日から金曜日、午前8時から午後5時まで:** すべての動作センサーがオン。
- **それ以外のすべての時間:** すべての動作センサーがオフ。

スケジュールを追加する



1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。

3. SmartHubをタップします。
4. [スケジュール]  をタップします。
5. [スケジュール] の横にある [編集]  をタップします。
6. [+追加] をタップします。
7. 日時を設定します。

メモ: 夜間スケジュール (午後8時から午前6時など) を追加するには、2つのスケジュールを別々に追加する必要があります。まず、午後8時から午後11時59分を追加してから、次に午前12時から午前6時を追加します。

8. [完了] をタップします。

スケジュールを編集する

1. Arloアプリを起動します。
2. [モード] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [スケジュール]  をタップします。
5. [スケジュール] の横にある [編集]  をタップします。
6. 緑色のボックスをタップします。
7. 開始時刻と終了時刻を変更して、[保存] をタップします。

Arloジオフェンスをセットアップする

ジオフェンスは、ゾーンと呼ばれる場所を囲む仮想フェンスです。Arloジオフェンスを使用すると、モバイルデバイスがゾーンに入っている場合、またはゾーンから出ている場合に、スケジュールモードを有効化、無効化、または再開できます。ジオフェンスをセットアップするには、モバイルデバイスを使用して、位置情報の利用をArloアプリに許可する必要があります。

ジオフェンスの精度

精度を上げるために、ジオフェンスは、GPS、モバイルデータ通信、WiFiデータ通信を組み合わせて使用します。地域の環境は、ジオフェンスに影響を与えます。

- 都市環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWiFiルーターの密度が高い環境) では、ジオフェンスの精度が100~200 mになることがあります。

メモ: 超高層の建物に住んでいる場合、GPSが不正確になるため、ジオフェンスの信頼性が低下することがあります。範囲設定 [大] を使用すると、問題が解決される場合があります。

- 地方の環境 (モバイルデータ通信の電波塔やWiFiルーターがまばらな環境) では、ジオフェンスの精度が数百メートルになることがあります。

ジオフェンスの精度を向上させるには、モバイルデバイスが次の条件を満たしていることを確認します。

- WiFiがオンになっている。
- GPSまたは位置情報サービスがオンになっている。

ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備する

1. Arloがデバイスを見つけることができるように、GPSサービスまたは位置情報サービスを有効にします。
2. WiFiを有効にします。
3. ジオフェンスを有効にする各モバイルデバイスで、Arloアプリをダウンロードして、ログインします。

デバイスでArloジオフェンスを使用するには、AndroidまたはiOSモバイルデバイスの設定を次のように調整する必要があります。


Androidデバイス

- 位置情報許可 = オン
- 位置情報サービス = オン
- バッテリーセーバー = オフ
- データ制限 = オフ
- 機内モード = オフ

iOS (Apple) デバイス

- 自分の位置情報を共有 = オン
- 位置情報サービス = 常時
- 機内モード = オフ

ジオフェンスを初めてセットアップし、さらにモードをセットアップする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. **[ジオフェンス]**  をタップします。
5. Arloアプリがモバイルデバイスの場所を使用できるようにします。
ジオフェンスは、Arloがモバイルデバイスを見つけることができる場合にのみ機能します。[ロケーションの住所] ページには、現在の住所が表示されます。
6. 範囲の設定を変更するには、**[範囲]** をタップし、範囲のサイズを選択します。
範囲のサイズは、**[小]**、**[中]**、**[大]** (それぞれ約150 m、250 m、500 m) です。
7. **[デバイスの場所]** をタップして、場所の名前を入力します。
8. **[退席中モード]** をタップして、モードを選択します。
モバイルデバイスがカメラの位置の範囲外にある場合、カメラは退席中モードを使用します。ほとんどの人は、**[警戒]**、**[スケジュール]**、**[カスタムモード]** を選択して、不在時もカメラが動作を検出できるようにします。
9. **[ホームモード]** をタップして、モードを選択します。
モバイルデバイスがカメラの位置の範囲内にある場合、カメラはこのモードを使用します。通常、自宅にいる場合は**[待機]** モードを選択します。
有効なモバイルデバイスが複数ある場合は、接続するArloデバイスを選択するように求められることがあります。
10. 優先するモバイルデバイスを選択するには、デバイスをタップし、**[次へ]** をタップします。
11. **[保存]** をタップします。
トラブルシューティングのヒントについては、「Arloジオフェンスのトラブルシューティング」(71ページ)を参照してください。

複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する

Arloジオフェンスは複数のモバイルデバイスで動作します。

Arloは、FILO (First In Last Out) 原則を使用して、複数のユーザーがジオフェンスを使用している世帯を管理します。全員が各自のモバイルデバイスを持って外出した場合は、退席中状態になります。ジオフェンス内には誰もいなくなるため、カメラは警戒モードになります。1人でもユーザーが帰宅すると (first in)、そのモバイルデバイスがジオフェンス内にあるため、ホーム状態になり、カメラが待機モードになります。1人が外出しても他の人がまだ家に残っている状態であれば、最後のユーザーが外出するまで (last out)、カメラはホーム状態で待機モードのままになります。

各ユーザーが毎日持って出かけるモバイルデバイスにのみ、ジオフェンスを有効にすることをお勧めします。たとえば、スマートフォンとタブレットを使用しており、外出時にはスマートフォンを持って出かけるような場合は、ジオフェンスの設定でスマートフォンを有効なデバイスとして設定します。退席中モードがトリガーされなくなるため、外出時にタブレットを家に置いておく場合は、タブレットを有効なデバイスとして設定しないでください。

ジオフェンスモードでは、有効なモバイルデバイスがすべてデバイスの場所のゾーン内にはない場合にのみ、ジオフェンスモードが [ホーム] から [退席中] に変わります。

ジオフェンスを使用しているモバイルデバイスを確認するには、Arloアプリを開き、ジオフェンスの設定の [有効デバイス] ページを確認します (Arloアプリの [モード] セクションの [SmartHub] の下)。[ホーム]/[退席中] モードの変更をトリガーしたくないデバイスはすべて削除してください。


次の条件が満たされていることを確認します。

- Arloデバイスがオンラインになっている。
- ジオフェンスが有効になっている。
- 友人と家族のモバイルデバイスを追加している。

デバイスの追加については、「友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする」(42ページ)を参照してください。

- (友人がジオフェンスに参加する場合に必須) 友人が自身のモバイルデバイスでArloアプリにログインしており、そのモバイルデバイスでGPSまたは位置情報サービスが有効になっている。

友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [ジオフェンス] の横にある **[編集]**  をタップします。
5. **[有効なデバイス]** をタップします。
モバイルデバイスのリストが表示されます。ジオフェンスが有効な場合、デバイス名の横にチェックマークが表示されます。
6. 1つ以上のモバイルデバイスをタップします。
デバイスの場所は、ゾーン内、ゾーン外、または使用不可 (そのデバイスへの接続に問題がある場合) のいずれかが表示されます。
7. ジオフェンスを無効にするには、モバイルデバイスをもう一度タップします。
ジオフェンスを無効にすると、チェックマークが表示されなくなります。

詳細については、「[Arloジオフェンスをセットアップする](#)」(38ページ)を参照してください。

カスタムモード

Arloアプリに装備されたモード以外のモードを追加し、新しいモードに「休暇」などのカスタム名を付けることができます。カメラはモードごとに1つのルールを持ちます。

1つのモードの中に複数のルールを作成できます。ルールを組み合わせることで、フレキシブルなイベントとアクションに対応します。また、時間によって自動的にモードを変更するようにスケジュールすることもできます(「[スケジュールを追加する](#)」(37ページ)を参照してください)。

モードを追加する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. **[モードの追加]** をタップします。

5. モード名を入力し、**[次へ]** をタップします。
6. トリガーデバイスを選択し、**[次へ]** をタップします。
これは動作および/または音を検知するカメラです。
7. **[動作検知時]** および **[音声検知時]** セクションにトリガーデバイスの設定を入力して、**[次へ]** をタップします。
8. スライダーを使ってトリガーデバイスの動作検知感度を設定し、**[次へ]** をタップします。
通常、動作検知感度を高く設定すると、カメラは頻繁に録画するようトリガーされます。
9. トリガーデバイスの音声検知感度を設定して、**[次へ]** をタップします。
10. アクションデバイスを選択して、**[次へ]** をタップします。
これは、トリガーデバイスが動作や音を検知したときにアクションを実行するArloデバイスです。トリガーとして使用しているのと同じArloデバイス、または別のArloデバイスを選択できます。
11. アクションを選択して、**[次へ]** をタップします。
Arlo Ultraカメラの場合は、**[ビデオの録画]**、**[アラームをオンにする]**、または **[何もしない]** を選択できます。
コンピュータのWebブラウザーを使用している場合は、録画時間の設定も指定できます。
12. Arloが動作または音を検知したときに送信する通知を選択し、**[次へ]** をタップします。
13. 設定を確認して、**[保存]** をタップします。

Ultraカメラで音声アラームを検出する

アラーム検知を使用するには、Arlo Smartサブスクリプションが必要です。Arlo Smartの詳細については、「[Arloサブスクリプションプランとクラウド録画の容量について教えてください。](#)」を参照してください。

Arlo Smartアラーム検知は、カメラが煙感知器または一酸化炭素検出器のアラームが作動したことを検知すると、Arloアプリに通知します。カメラは、アクティビティが停止するまで、または指定した時間 (最大300秒) まで記録します。

対応のアラーム

アラーム検知機能に対応しているか確認するため、アラームをテストすることをお勧めします。アラーム検知機能では、以下のアラームが認識されます。

- 業界標準のT3アラームを出力する煙感知器 (3回の断続的なビーブ音の後、無音時間)。
- 業界標準のT4アラームを出力する一酸化炭素検出器 (4回の断続的なビーブ音の後、無音期間)。

アラーム検知機能では、他のパターンのアラームは検知されません。

一般的な煙感知器では、T3アラーム (3回の断続的なビーブ音の後、無音時間) が出力され、一酸化炭素検出器ではT4アラーム (4回の断続的なビーブ音の後、無音時間) が出力される傾向があります。

ここでは、対応するT3およびT4信号を出力する検出モデルの例をいくつか示します。

- Kidde i9050
- USI5304
- First Alert 0827
- First Alert P1210
- First Alert SC05

検出器のアラームパターンを確認するには、検出器に付属の説明書を確認するか、オンラインで製品情報を検索してください。

アラームの互換性をテストする場所の準備

アラームをテストして、Arloアラーム検出機能との互換性を確認することをお勧めします。テストを開始する前に、次の内容を確認してください。

- 煙感知器および一酸化炭素検出器は、テスト中に30秒間連続するT3またはT4パターンを出力できる。アラームのテストボタンでこれを実行できるかどうか不明な場合は、アラームに付属の説明書を確認するか、オンラインで製品情報を検索してください。
- アラームの位置では反響は発生せず、アラームよりも大きい音は発生しない。
- アラームテストの実行中は、カメラの視野内に動作がないこと。テスト中にカメラが動作を検知しても、カメラがアラームも検知したかどうかは明確にならない場合があります。

アラーム検知との互換性について、アラームをテストする

1. テスト中は、アラームから60 cm以内にArlo Pro 3カメラを設置します。
互換性テストが正常に完了した場合、カメラを別の場所に移動して、アラーム検知範囲をテストします。
2. Arloアプリを起動します。
3. Pro 3カメラが、[警戒] モード、または音と動作を検知できるその他のモードになっていることを確認します。
4. **[設定] > [スマート通知]** をタップします。
5. Arlo Pro 3カメラを選択します。
6. [音声検知アラート] セクションで、**[火災警報器]** を選択し、**[その他の音声]** がオフになっていることを確認します。
7. Arloアプリを閉じます。ログアウトはしないでください。
8. 煙感知器および一酸化炭素検出器のテストボタンを使用すると、アラームが30秒間作動します。
互換性のあるアラームは、次のいずれかのパターンで20秒間連続して鳴ります。
 - 業界標準のT3アラームを出力する煙感知器 (3回の断続的なビープ音の後、無音時間)。
 - 業界標準のT4アラームを出力する一酸化炭素検出器 (4回の断続的なビープ音の後、無音期間)。

アラーム検知テストの結果

次のセクションでは、テスト結果について説明します。

アラーム検知が作動しています

モバイルデバイスのArloアプリから音声検知アラートプッシュ通知が送信され、「火災警報器?」とラベル付けされたビデオクリップがArloライブラリに保存されます。これは、カメラがアラームの範囲内にあり、アラームがアラーム検知機能に対応していることを意味します。

メモ: Arloカメラは録画時にバッテリー電源が使用されるため、音声検知アラートオプションがオンであることを認識しておくことが重要です。必要に応じて、予備のバッテリーとArloデュアル充電ステーションを別途購入できます。

Arloはビデオを録画しましたが、通知しませんでした

音声検知アラートプッシュ通知を受信せず、「音声」とラベル付けされたビデオクリップがArloライブラリに保存されている場合、カメラは煙感知器または一酸化炭素検出器の範囲内にありますが、アラームパターンを煙感知器または一酸化炭素検出器として認識できませんでした。

次の理由で通知されない場合があります。

- 煙感知器または一酸化炭素検出器が、連続するT3またはT4のアラームパターンを出力しなかった。
- カメラがある場所に背景雑音や反響が多すぎる。
- アラームがアラーム検知機能に対応していない。

テストを再度実行して結果を確認することをお勧めします。

Arloが通知またはビデオ録画を行いませんでした

カメラがアラームから遠すぎてアラームを検知できていません。Arloカメラをアラームの近くに移動して、もう一度テストを実行してください。

アラーム検知範囲のテスト

対応テストが正常に完了した場合、カメラを別の場所に移動した際のアラーム検知範囲をテストすることをお勧めします。

1. Arlo Pro 3カメラを適切な場所に設置します。
2. Arloアプリを起動します。
3. Pro 3カメラが、[警戒]モード、または音と動作を検知できるその他のモードになっていることを確認します。
4. カメラの[音声検知アラート]セクションで[火災警報器]を選択しており、[その他すべての音声]がオフになっていることを確認します。
5. Arloアプリを閉じます。ログアウトはしないでください。
6. 煙感知器および一酸化炭素検出器のテストボタンを使用すると、アラームが30秒間作動します。
7. テストが正常に完了した場合、通知を検知した際に関連するビデオを視聴できるように、カメラを最も重要な部分に向けてください。

音声検知をオフにする



音声検知アラートを使用する場合は、音声検知をオンにして、カメラが音を検知したときに起動するようにする必要があります。音声検知をオフにするには、最初に音声検知アラートをオフにする必要があります。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[スマート通知]** をタップします。
3. カメラを選択します。
4. **[音声検知アラート]** セクションで、**[火災警報器]** 設定および **[その他のすべての音声]** 設定の横にあるスライダーの選択を解除します。
5. **[設定]** に戻ります。
6. **[スマート通知]** をタップして、**[音声検知]** の横にあるスライダーの選択を解除します。

音声検知を使用した後にプッシュ通知をオフにする

Arlo Smartの音声検知を使用する場合は、プッシュ通知をオンにする必要があります。音声検知と音声検知アラートをオフにした後、ルールを編集してプッシュ通知をオフにすることができます(「アラーム検知範囲のテスト」(46ページ)を参照してください)。

プッシュ通知をオフにするには、次の手順に従います。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. モードの横にある **[編集]**  をタップします。
5. ルールの横にある **[編集]**  をタップします。
6. **[プッシュ通知]** をタップして、通知のオン/オフを切り替えます。

6. 設定を変更する

Arloアカウントを設定すると、スマートフォンやタブレットでArloアプリを使用して、またはWebブラウザを使用してPCからArloアカウントにアクセスできます。PCを使用している場合は、ブラウザのアドレス欄に「<https://my.arlo.com/#/login>」と入力します。

2段階認証

2段階認証は、Arloアカウントにログインする際のセキュリティを一層強化し、アカウントを保護します。新しいデバイスでサインインするたびにArloがIDを確認します。Arloアカウントに関連付けられているメールアドレスに加えて、2段階認証方法を最大5つ使用できます。

メモ: 友人として他のユーザーのArloアカウントで使用しており、アカウントの所有者が2段階認証を設定している場合、ログインに2段階認証を使用する必要はありません。同様に、ユーザーがArloアカウントの友人として2段階認証を設定しても、アカウントの所有者には影響しません。

2段階認証でサインインするには、まずメールアドレスとパスワードを入力する必要があります。次に、セキュリティコード (SMSテキストメッセージまたはメールで配信) を使用するか、すでに信頼できるデバイスとして設定されているデバイスからの確認メールでIDを認証する必要があります。2つの情報を要求することで、他人がArloアカウントのパスワードを知っていたとしても、意図しないログインを防ぐことができます。

- **プッシュ通知**。新しいデバイスでArloアカウントにログインしようとする時、Arloは、信頼できるデバイスとして設定された (現在ログインしている) iOSまたはAndroidデバイスにプッシュ通知を送信します。信頼できるデバイスでプッシュ通知をタップして、ログインを承認または拒否します。
- **SMSテキストメッセージ**。Arloアカウントにログインしようとする時、2段階認証で確認を行った電話番号にテキストメッセージが送信されます。テキストメッセージに記載されているセキュリティコードを入力して、ログインを完了します。
- **メール**。プッシュ通知を使用しても信頼できるデバイスにアクセスできない場合、またはSMSテキストメッセージを受信できない場合は、Arloアカウントに関連付けられたメールアドレスにセキュリティコードを送信するようリクエストできます。

2段階認証のセットアップ

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[アカウント]** セクションで、**[プロフィール]** > **[ログインの設定]** > **[2段階認証]** を選択します。
4. **[有効]** の横にあるスイッチをタップします。
5. 認証方法を選択します。
メモ: Arloアカウントへのメールは自動バックアップオプションです。
6. アプリ内の指示に従って、2段階認証のセットアップを完了します。

電話番号またはデバイスを2段階認証に追加する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[アカウント]** セクションで、**[プロフィール]** > **[ログインの設定]** > **[2段階認証]** を選択します。
4. 電話番号を追加するには、**[SMS認証の追加]** をタップし、電話番号を入力します。
5. 信頼できるデバイスを追加するには **[信頼できるデバイスの追加]** をタップします。

2段階認証から電話番号またはデバイスを削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[アカウント]** セクションで、**[プロフィール]** > **[ログインの設定]** > **[2段階認証]** を選択します。
4. 電話番号または信頼できるデバイスの横にあるゴミ箱アイコンをタップします。

顔認証または指紋認証を使用する

対応するAppleデバイスでTouch ID®またはFace ID®を使用できます。対応するAndroidデバイスでは、指紋認証を使用できます。

使用するデバイスは、次の最低要件を満たしている必要があります。

- Appleデバイス:
 - iOSバージョン10.3以降
 - Touch ID対応デバイス (iPhone 5s、iPad Air 2以降)
 - Face ID対応デバイス (iPhone X、iPad Pro 2018以降)
- Androidデバイス:
 - Android OSバージョン6.0以降
 - 指紋認証に対応するAndroidデバイス

Arloアプリの指紋認証のオン/オフを切り替える

1. iPhoneまたはAndroidデバイスで指紋認証を有効にします。
2. Arloアプリを起動します。
3. **[設定]** をタップします。
4. **[アカウント]** セクションで、**[プロフィール]** > **[ログインの設定]** を選択します。
5. 指紋またはTouch IDの切り替えスイッチを右 (オン) または左 (オフ) にスライドさせます。

Arloアプリの顔認証のオン/オフを切り替える

1. iPhoneでFace ID認証を有効にします。
2. Arloアプリを起動します。
3. **[設定]** をタップします。
4. **[アカウント]** セクションで、**[プロフィール]** > **[ログインの設定]** を選択します。
5. Face IDの切り替えスイッチを右 (オン) または左 (オフ) にスライドさせます。

プロフィールのカスタマイズ

名前の入力、プロフィール写真や自宅住所の追加、Arloニュースおよびサポート最新情報のオプトイン/オプトアウトなどを実行できます。

プロフィール写真の追加

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. [アカウント]セクションで、**[プロフィール]>[プロフィールの編集]** を選択します。
4. ページの上部でプロフィール写真をタップします。
5. **[写真の撮影]** または **[ライブラリから選択]** を選択します。
メモ: すでにプロフィール写真がある場合は、**[現在の写真を削除]** を選択することもできます。
6. 使用するプロフィール写真をアップロードします。
7. ページ下部の **[保存]** をタップします。

プロフィール設定の編集

名前の入力、プロフィール写真や自宅住所の追加、Arloニュースおよびサポート最新情報のオプトイン/オプトアウトなどを実行できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. [アカウント]セクションで、**[プロフィール]>[プロフィールの編集]** を選択します。
4. プロフィール設定を入力します。
5. ページ下部の **[保存]** をタップします。

Arloパスワードの変更

Arloアプリでパスワードを変更できますが、my.arlo.com にログインしても変更できません。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。

3. [アカウント] セクションで、[プロフィール] > [ログインの設定] を選択します。
4. 古いパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを入力し、確認用のフィールドにも再入力します。
6. [パスワードの変更] をタップします。
新しいパスワードが保存されました。

忘れたパスワードのリセット

Arloパスワードを忘れた場合は、確認済みのメールアドレスを使用してパスワードをリセットできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [パスワードを忘れた場合] をタップします。
3. メールアドレスを入力します。
4. [メールを送る] をタップします。
確認済みのメールアドレスにalerts@arlo.comからメールが送信されます。
5. メール内のリンクをタップします。
6. 新しいパスワードを入力してください。
7. [送信] をタップします。
パスワードがリセットされます。

友人にアクセス権を付与する

Arloアカウントに友人を追加できます。友人は、カメラからライブストリームを見たり、ビデオクリップを録画したり、ライブラリからのクリップを見たり、共有したり、お気に入りとしてマークしたり、削除したり、スナップショットを作成したりできます。友人には、Arloアカウントの一部の設定および機能への限定アクセスが付与されません。友人が表示できるカメラや、友人の管理権限を設定することができます。

アクセス権を持たない友人は、次のことを実行できます。

- ライブラリコンテンツの再生と表示
- ライブ表示
- ビデオのズームとドラッグ

- 明るさの調整
- 全画面表示

アクセス権を付与された友人は、次のことも実行できます。


- ビデオの再生と一時停止
- ビデオの録画
- スピーカーの消音
- モードへのアクセスと変更
- 動作検知ステータスの表示
- 手動録画
- スナップショット撮影
- ビデオのお気に入り設定、共有、ダウンロード、および削除
- カメラのマイクの使用

友人を追加する


1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。
3. **[アカウント]** で、**[アクセス権の付与]** をタップします。
4. **[追加]** または **[+]** をタップします。
5. 友人の名、姓、メールアドレスを入力します。
6. 友人にアクセスさせたいArloデバイスをタップします。
7. 友人にアクセス権を付与するには **[アクセス権の許可]** をタップします。
[アクセス権の許可] を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することになります。
8. **[招待を送る]** をタップします。
Arloアカウントの作成を勧める招待メールメッセージが友人に送信されます。この友人の名前が **[保留]** ステータスで表示されます。友人が招待を受け入れると、ステータスが **[承認済み]** に変わります。

友人のアクセス権を編集する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** をタップします。

3. [アカウント] で、[アクセス権の付与] をタップします。
友人のリストがそれらのアカウントのステータスと一緒に表示されます。
4. 友人をタップして、[編集]  をタップします。
5. カメラをタップして、選択または選択解除します。
6. [アクセス権の許可] をタップします。
[アクセス権の許可] を選択すると、自分のアカウントおよびカメラ設定の変更を友人に許可することになります。
7. [完了] をタップします。

友人を削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定] をタップします。
3. [アカウント] で、[アクセス権の付与] をタップします。
4. 友人を選択して、[編集]  をタップします。
5. [友人を削除] をタップします。
6. [はい] をタップします。


タイムゾーンを変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定] > [マイデバイス] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [タイムゾーン] をタップします。
5. タイムゾーンをタップします。
モバイルデバイスを使用している場合は、設定が保存されます。
6. PCを使用している場合は、[保存] をクリックしてください。


カメラ設定

次のいずれかの方法を使用して、各カメラの設定を表示または変更できます。

- [設定] > [マイデバイス] をタップして、カメラを選択します。

- カメラフィールドの下にある **[メニュー]** アイコン...または **[デバイス設定]** アイコン  をタップします。

カメラ名を変更する

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. カメラ名の横にある **[編集]**  をタップします。
5. 「車庫」や「玄関ドア」など、カメラの場所がわかる新しい名前を入力します。
カメラ名は、32文字までです。
6. **[保存]** をタップします。

[自動ズームおよび追跡] をオンにする

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. **[自動ズームおよび追跡]** をタップします。

カメラのLEDをオフにする

カメラのLEDはさまざまな色で点灯します(「Arlo UltraカメラのLED」(12ページ)を参照してください)。このLEDはオフにできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[カメラLED]** をタップします。
5. LEDの点灯/消灯を切り替えるには、**[充電完了時にLEDを点灯]** をタップします。
モバイルデバイスを使用している場合は、設定が保存されます。
6. PCを使用している場合は、**[保存]** をクリックしてください。

映像品質と電池使用率を変更する

ビデオ解像度は、[高品質録画]、[最適化]、または[最適な電池寿命]に設定できます。
[最適な電池寿命]を選択すると、必要とするWiFiの帯域幅が軽減されます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス]をタップします。
3. カメラをタップします。
4. [録画の設定]>[電源管理]の順でタップします。
5. [最適な電池寿命]、[最適化]、[高品質録画]をタップして選択します。

夜間のカラービデオ録画のオン/オフを切り替える

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス]をタップします。
3. カメラをタップします。
4. [録画の設定]>[低光量設定]をタップします。
5. [カラー]をタップします。
[カラー設定]のオン/オフが切り替わります。

夜間撮影のオン/オフを切り替える

夜間撮影を有効にすると、カメラは赤外線 (IR) LEDを自動的に点灯して、暗い場所での録画を開始します。カメラが窓などの反射面に面している場合は、夜間撮影機能をオフにすることをお勧めします。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス]をタップします。
3. カメラをタップします。
4. [録画の設定]>[低光量設定]をタップします。
5. [夜間撮影機能]をタップします。
Androidデバイスを使用している場合は、スライダーをタップします。

自動HDRのオン/オフを切り替える

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. **[録画の設定]** をタップします。
5. **[自動HDR]** をタップします。
Androidデバイスを使用している場合は、スライダーをタップします。

カメラのオーディオ設定を変更する


設定を調整して、風切り音を低減したり、マイクのオン/オフを切り替えたり、スピーカーを調整したりできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定]** > **[マイ デバイス]** をタップします。
3. カメラをタップします。
4. モバイルデバイスを使用している場合は、**[オーディオ設定]** をタップします。
5. 次の設定を調整します。
 - **[風によるノイズを低減する]** トグルボタンで、この機能のオン/オフを切り替えることができます。
 - **[マイク]** トグルボタンで、マイクのオン/オフを切り替えることができます。
 - **[スピーカー]** トグルボタンと音量。スピーカーのオン/オフを切り替えるには、**[スピーカー]** をタップします。スピーカー音量を変更するには、**[スピーカーの音量]** スライダーを動かします。

カメラのスポットライト設定のカスタマイズ

Arlo Ultraカメラのスポットライトは、夜間にカメラが動体を検知すると自動的にオンになるように設定されています。スポットライトにより、ビデオの画質が向上し、夜間にカメラでカラービデオを録画できます。スポットライトのオン/オフを切り替えたり、スポットライトの動作や明るさを調整できます。

スポットライトのオン/オフを切り替える

[**スポットライト**]  をタップすると、カメラフィールドからいつでもスポットライトをオン/オフできます。「カメラフィールドからスポットライトをオン/オフする」(21ページ)を参照してください。


また、Arlo Ultraカメラが夜間に動体を検知したときに、スポットライトが自動的に点灯するかどうかを制御することもできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [**設定**] > [**マイ デバイス**] をタップします。
3. カメラをタップします。
4. [**録画の設定**] > [**低光量設定**] をタップします。
5. [**スポットライト**] をタップします。
[スポットライト設定] のオン/オフが切り替わります。[スポットライト設定] を [オン] の位置に設定すると、Arloカメラが夜間に動作を検知したときに、スポットライトが自動的に点灯します。

SmartHubの設定を変更する

SmartHubの設定を表示または変更できます。

SmartHub名の変更

1. Arloアプリを起動します。
2. [**設定**] > [**マイ デバイス**] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. SmartHub名の横にある [**編集**]  をタップします。
5. SmartHubの新しい名前を入力します。
6. [**保存**] をタップします。

SmartHubのちらつき設定の調整

特定の人工光源とカメラのシャッタースピードの組み合わせによっては、録画ビデオにちらつきが生じることがあります。SmartHubのデフォルト設定は [自動] ですが、ちらつき調整は変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. [ちらつきの調整] をタップします。
5. [設定] をタップします。

SmartHubの再起動

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. 下にスクロールして [再起動] をタップします。

デバイス情報を確認する

ファームウェアバージョン、ハードウェアバージョン、およびシリアル番号を表示できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. デバイスをタップします。
4. [デバイス情報] をタップします。

アカウントからデバイスを削除する

1. Arloアプリを起動します。
2. [設定]>[マイ デバイス] をタップします。
3. カメラをタップします。
4. 下にスクロールして、[デバイスを取り外す] をタップします。

7. SDカードストレージの使用

microSDカードをArlo SmartHubに挿入し、Arloの録画をクラウドとSDカードの両方に保存できます。SmartHubがインターネットに接続されていない場合、録画は引き続きmicroSDカードに保存されます。Arlo UltraカメラとSmartHubの間にアクティブなライブストリーミング接続がある場合は、microSDカードに録画できます。SDカードの保存スペースが不足しているかいっぱいになっている場合は、Arloアプリから通知されます。

microSDカードのフォーマット

SmartHubはSDHCまたはSDXC microSDカードに対応しています。容量16 GB、スピードクラス10、UHS-1、V10以上のmicroSDカードを使用することをお勧めします。Arlo SmartHubはクラス10 UHS-3 V90までサポートしています。

microSDカードがフォーマットされていないか、互換性のないファイルシステムでフォーマットされている場合は、Arloアプリを使用してmicroSDカードをフォーマットできます。「microSDカードのフォーマット」(62ページ)を参照してください。



microSDカードの挿入

1. microSDカードをSmartHubの下部にあるスロットに挿入します。



2. microSDカードがスロットに完全に装着されるまでmicroSDカードの端を押します。

SDカードのステータスの表示

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]** をタップします。
3. SDカードのアイコン  を確認します。microSDカードをSmartHubに挿入すると、そのアイコンはオレンジ色  になります。
4. microSDカードのステータスの詳細を表示するには、**[ローカルストレージ]** で **[ストレージ設定]** をタップします。
[SDカードステータス] には [良好] と表示されるか、SDカードをフォーマットする必要があるか、いっぱいであるかが表示されます。このような場合は、Arloアプリからも通知されます。

利用可能なSDカードストレージの表示

SDカードがいっぱいになると、Arloアプリから通知されますが、使用可能なストレージを確認することもできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]** > **[ストレージ設定]** をタップします。
[使用可能なストレージ] フィールドには、SDカードで使用可能なストレージ容量が表示されます。

SDカードへの録画のオン/オフ切り替え

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]** をタップします。
3. SmartHubを選択します。
4. **[ストレージ設定]** > **[SDカードへの録画]** をタップします。
SDカードへの録画がオフまたはオンに切り替わります。

ローカル4K録画のオン/オフ切り替え

SDカードに保存されるSmartHub録画は1080pですが、この設定を変更して、4K録画をSDカードに保存できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ]** をタップします。

3. SmartHubを選択します。
4. **[ストレージ設定] > [4Kビデオ録画]** をタップします。
ローカル4K録画のオフ/オンが切り替わります。

SDカード上書き設定の変更

デフォルトでは、SDカードがいっぱいになると、最も古いArlo録画が消去されて新しい録画用のスペースが確保されます。SDカード上のArloフォルダーにないファイルは、Arlo録画用のスペースを確保するために削除されません。Arlo録画が自動的に消去されないように設定を変更できます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[ベースステーションおよびブリッジ] > [ストレージ設定]** をタップします。
3. **[自動的に上書き]** をタップします。
上書き設定のオン/オフが切り替わります。

microSDカードのフォーマット



SmartHubでは、microSDカード、SDHCまたはSDXCのみを使用できます (FAT32ファイルフォーマット)。SDカードをフォーマットする必要があるかどうかを知らせるメッセージがArloアプリに表示されます。SmartHubではSDカードをフォーマットできます。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] > [ローカルストレージ]** をタップします。
3. 赤の**[SDカードのフォーマット]** ボタンをタップします。

SDカードを安全に取り出す

SmartHubからmicroSDカードを安全に取り出すことは重要です。情報の記録中にSDカードを取り出すと、SDカードが完全に使用できなくなる可能性や、カード上のファイルが破損する可能性があります。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[SmartHub/ベースステーション/ブリッジ] > [ローカルストレージ]** をタップします。
3. **[SDカードを安全に取り外す]** をタップします。
4. **[SDカードを取り外しています]** 進行状況メッセージが閉じるのを待ちます。

5. SDカードの端を押し込み、飛び出てきたらSmartHubからSDカードを取り出します。
SDカードの取り外し中は、SmartHubの電源を切ったり、SDカードを取り出さないでください。
6. SDカードのアイコンがオレンジ色  からグレー  に変わり、スロットにmicroSDカードがないことが示されます。
別のSDカードを挿入するまで、Arlo SDカードへの録画は無効になります。

microSDカードのビデオの表示

microSDカードに保存されたArloビデオを表示するには、SmartHubからmicroSDカードを取り出し、microSDカードリーダーを使用する必要があります。

microSDカードリーダーはコンピュータ内蔵のものでも、USBまたはマイクロUSBコネクタ付きのメモリーカードリーダーでもかまいません。SDカードリーダーを購入する場合は、microSDカードを読み取れるものを必ず選択してください。

1. microSDカードを安全に取り出します。
詳細については、「SDカードを安全に取り出す」(62ページ)を参照してください。
2. microSDカードをカードリーダーのスロットに挿入します。
3. microSDカードがコンピュータの使用可能なドライブのリストに表示されるのを待ってから、ドライブフォルダーを開いてmicroSDカードのファイルを表示します。
4. Arloフォルダーを開きます。
録画したビデオはMP4形式で、映像ファイルは次の形式で命名されています: カメラのシリアル番号_映像番号_日付_ビデオクリップタグ。日付の形式はYYYYMMDD (年月日) です。

メモ: お使いのPCでMP4形式ファイルが再生できない場合、メディアプレーヤーを最新バージョンにアップデートしてからやり直してみてください。標準的なマルチメディアプレーヤーのVLCでも再生することができます。

8. Arlo Connect

Amazon AlexaでArloを使用する

Arlo SkillとAlexaを使用すると、音声による指示 (ボイスコマンド) でArloデバイスにアクセスし、ライブカメラフィードをEcho Show、Fire TVやFireタブレットで表示できるようになります。AlexaはArloカメラで動作が検知されたときに通知することもできます。

Arlo Skillを使用するには、接続されたUltraカメラと次のいずれかのAmazonデバイスが必要です。

- Echo Show
- Echo Spot
- Echo Dot
- Echo、Echo Plus
- Fireタブレット (第7世代以降)
- Fire TV (全世代)
- Fire TV Stick (第2世代のみ)
- Fire TV EditionスマートTV

Arlo Skillを有効にする

Ultraカメラの電源が入っていて、クラウドに接続していることを確認します。

次のいずれかの方法でArlo Skillを有効にします。

- Amazon Alexaに「Alexa、Arlo Skillを有効にして」と話します。そして、Alexaアプリに表示される指示に従い、ArloアカウントとAlexaアカウントをリンクさせます。
- AlexaアプリでArlo Skillを検索し、**[Skillを有効にする]** を選択して、ArloアカウントとAlexaアカウントをリンクさせます。

Arlo Skillを使用する

Arlo Alexa Skillが有効になると、次のコマンドを使うことができます。

- 「Alexa、[カメラ名]を表示して」カメラのライブストリーミングを開始します。
- 「Alexa、停止して」アクティビティを停止し、デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、[カメラ名]を非表示にして」カメラのストリーミングを停止し、デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、ホームに移動して」デバイスのホーム画面に戻ります。
- 「Alexa、[カメラ名]で検知した最後の動作を表示して」このコマンドを使用するには、Arloサブスクリプションにカメラの過去のビデオクリップの表示が含まれている必要があります。

カメラが動作を検知したときに通知するようにAlexaを設定する

次のいずれかの方法を使用できます。

- Alexaアプリのスマートホームセクションで、Arloカメラのアナウンスをオンにします。
- AlexaアプリのメインメニューからAlexaのルーチンを作成します。

ArloをAppleのホーム Appに追加する

最適に操作するには、ArloアカウントにArloデバイスを追加してから、Appleのホーム Appに追加します。AppleホームアプリにSmartHub (モデルVMB5000)を追加すると、SmartHubとペアリングされているすべてのArloデバイスがAppleのホーム Appで使用できるようになります。

Arlo SmartHubをホーム Appに追加する方法は2つありますが、使用する方法はSmartHubにHomeKitステッカーが付いているかどうかによって異なります。

HomeKitステッカー付きのSmartHubをホーム Appに追加する

1. HomeKitセットアップコードを確認します。

このコードは、Arlo SmartHubの背面または底面に貼付されたステッカーに記載されています。



HomeKitセットアップコードの例

2. Appleのホーム Appを起動します。
3. [ホーム] タブのページ上部にある [+] 記号をタップしてから、**[アクセサリを追加]** をタップします。
Appleモバイルデバイスのカメラが起動し、HomeKitセットアップコードのスキャンまたは入力を求めるプロンプトが表示されます。
4. モバイルデバイスのカメラを使って、HomeKitセットアップコードをスキャンします。
コードをスキャンできない場合は、**[コードがないか、スキャンできませんか?]** をタップし、コードを入力します。
5. 右上の **[完了]** をタップします。
SmartHubを追加すると、SmartHubとペアリングされているすべてのArloデバイスがHomeKitで利用できるようになります。
ライブビデオを見る場合、カメラのスクリーンショットをタップします。

HomeKitステッカーのないSmartHubをホーム Appに追加する

SmartHubにHomeKitセットアップコードのステッカーが貼付されていない場合は、次の方法を使用します。

メモ: SmartHubにHomeKitセットアップコードがある場合、この方法は機能しません。

SmartHubを追加するには次の手順に従ってください。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[設定] > [マイ デバイス]** をタップします。
3. SmartHubをタップします。
4. **[HomeKit]** をタップします。
5. ホームを選択するか、**[新しいホームの追加]** をタップします。
6. 部屋を選択するか **[新しい部屋の追加]** をタップします。
7. **[続行]** をタップして、HomeKitにカメラまたはその他のデバイスを追加します。
SmartHubを追加すると、SmartHubとペアリングされているすべてのArloデバイスがHomeKitで利用できるようになります。
8. 画面に表示される手順に従って、各デバイスに名前を付けます。
メモ: 各デバイスに付けた名前はSiriのコマンドに使用されます。覚えやすく発音しやすい一意の名前にしてください。
9. デバイスのセットアップを完了して、**[完了]** をタップします。

Arlo UltraカメラをGoogleアシスタントアプリに接続する

UltraカメラをGoogleアシスタントで使用するには、次のものがが必要です。

- Google Home Hub、Chromecastデバイス、Chromecast搭載のTV、Chromecast搭載のメディアプレーヤーのいずれか。
- モバイルデバイスのGoogleアシスタントアプリ。このアプリは、ほとんどのAndroidデバイスにインストールされています。iOSデバイスでは、Apple App Storeからアプリをダウンロードすることができます。

ArloカメラをGoogleアシスタントアプリに接続するには、次の手順に従います。

1. Googleアシスタントで音声対応スピーカーを使用する場合は、そのデバイスの設定を行ってください。
2. ホームページでGoogleアシスタントアプリを開きます。
3. +アイコンをタップします。
4. **[Set up Device (デバイスの設定)] > [Have something already set up? (すでに設定済みのデバイスがありますか?)]** をタップします。
5. デバイスオプションの一覧から、Arloアイコンを選択します。
Arloを検索するか、デバイスの一覧を下にスクロールしてArloを探すことができます。
6. Arloアカウントでサインインします。
カメラがGoogleアシスタントに追加されます。
7. カメラをテストするには、「OK Google、[Googleデバイスの名前] で [カメラが設置された部屋の名前] を表示して」と話します。
8. ストリーミングを終了するには、「OK Google、[Chromecastデバイスの名前] を停止して」と話します。

詳細については、Googleアシスタントのヘルプ記事「スマートホーム デバイスを操作する」を参照してください。

IFTTTでArloを使用する

スマートホームデバイスとアプリケーションを接続する無料のクラウドベースサービスであるIFTTT (If This Then That) でArloアプリを使用できます。

IFTTTアプリにArloを追加するには、ifttt.com/arloのページを参照してください。

ArloとIFTTTの詳細は、arlo.com/communityのページを参照してください。

9. FAQとトラブルシューティング

FAQ

Arlo Ultraは4K解像度の出力をサポートしますか？

はい、Arlo Ultraは、3840 x 2160解像度を16 x 9のアスペクト比で出力できます。詳細については、「4. 画質機能」(28ページ)の章を参照してください。

ハイダイナミックレンジ (HDR) とは何ですか？

HDRは、同じ画像内に明るい部分と暗い部分の両方があるシーンの露出過度または露出不足の画像に関する問題を解決します。Arlo Ultraでは、HDRを使用するタイミングを自動的に決定します。HDRは屋外環境向けに最適化されています。

Arlo Ultraは既存のArloシステムと互換性がありますか？

はい、Arlo UltraはArloベースステーションにも既存の屋外セキュリティマウントにも接続できます。以前のArloバッテリーや以前のArlo充電ケーブルとの互換性はありません。

Arlo Ultraは屋内でも屋外でも使用できますか？

はい、Arlo Ultraは屋外耐候性があります。ワイヤレスで常時電力を必要としません。追加の屋外仕様充電ケーブルを使用すると、Arlo Ultraを屋外で使用できます。

メモ: カメラの内部コンパートメントを取り出して露出すると、耐候性がなくなります。

自動ズームおよび追跡機能とは何ですか？

Arlo Ultraが動体を検知すると、自動的にズームインして動体を追跡します。この追跡映像は、簡単にアクセスして再生できるように、クラウドに保存されているキュレーションされたクリップとして表示されます。クラウド内のキュレーションされたクリップは1080pの解像度です。

必要な最低アップロード帯域幅速度は？

Arloでは、Ultraカメラ1台あたり3 Mbpsの平均アップロード帯域幅速度を推奨しています。

電池に関するFAQ

充電式バッテリーの寿命はどのくらいですか？

カメラの充電式バッテリーの寿命は通常の使用で4～6か月ですが、設定を最適化するとさらに長く使用できることもあります。Arloカメラでは、動作を検知した場合にのみ録画するよう設定すると、長く使用できます。

カメラのバッテリー寿命を延ばすには？

バッテリーの寿命を延ばすために、以下を参考にしてください：

- カメラの映像品質とバッテリー使用率の設定を確認します。電池の寿命を延ばすには、**[最適な電池寿命]** の設定を選択します。この設定では映像品質を落として、電池寿命を延ばします(「Arlo SmartHubがオンラインであることを確認する」(74ページ)を参照してください)。
- 通常の使用とは、**[最適化]** 設定したカメラで1日に4分間の表示または録画と定義されています。
- 使い方によっては、結果が異なることがあります。また、SmartHubからカメラまでの距離もバッテリーの寿命に影響を与える可能性があるので注意してください。

カメラのバッテリーを充電するには？

カメラのバッテリーの充電が不十分です。カメラを使用する前に、バッテリーを完全に充電することをお勧めします。

バッテリーを充電するには、次の2つの方法があります。

- 電源アダプターケーブルを使用し、カメラをコンセントに接続します。
- または、Arloデュアル充電ステーション (別売) を使用して、2つのバッテリーを同時に充電することもできます。

充電ステーションと予備のバッテリーを購入した場合は、もう一方のバッテリーを充電しながら、予備のバッテリーをカメラに挿入できます。詳細については、「Arlo Ultraデュアル充電ステーション (別売) でバッテリーを充電する」(10ページ)を参照してください。

寒冷地でArloカメラを使用する場合、何に注意する必要がありますか？

バッテリーの化学的な特性により、低温はバッテリー残量に影響を与える可能性があります。このため、Arloカメラを寒い屋外に設置すると、カメラのバッテリーの持続時間が短くなったり、表示されるバッテリーの容量が思ったよりも早く減ることがあります。

あるArloカメラの電池が、他のArloカメラの電池よりも早く消耗するのはなぜですか？

Arlo Ultraカメラは、さまざまな環境下でご使用いただけます。環境によっては、電池の寿命に影響する場合があります。場合によっては、Arlo Ultraカメラのバッテリー寿命は他のカメラより長くなる場合があります。

- すべてのArloカメラは暗い場所でも優れた性能を発揮します。暗い場所での動作の監視には、赤外線センサーを使用します。赤外線センサーが使用されると、照明の明るい部屋で動作を監視しているカメラよりも電池を多く消費します。
- Arlo Ultraカメラは、SmartHubから90 m離れていても正常に機能します。SmartHubから遠く離れて設置されたカメラは、SmartHubの近くに設置されたカメラよりも多くのバッテリー電力を消費します。
- Arloカメラは録画するビデオの画質を選択することができます。高画質のビデオを録画するように設定されたカメラは、低画質のビデオを録画するように設定されたカメラよりも電池を多く消費します。

WiFi環境はArloカメラのバッテリーに影響しますか？

はい、混雑しているWiFi環境では、Arloカメラの電池が早く消耗する可能性があります。WiFi環境の混雑を調べるには、WiFiアナライザーを使用します。

アクティビティゾーンとCVRが機能しない

次の機能が利用できるのは、カメラがACコンセントに接続されている場合のみです。

- アクティビティゾーン
- CVR
- プレ録画

メモ: バッテリーを充電するためにカメラをArloソーラーパネル (別売) に接続しても、AC電力は供給されません。アクティビティゾーンとCVRを使用するには、カメラをACコンセントに接続する必要があります。

カメラでアクティビティゾーンまたはCVRを設定していてもゾーンが機能していない場合は、カメラがACコンセントに接続されていることを確認してください。カメラをACコンセントに接続すると、アクティビティゾーン、CVR、およびプレバッファリングが再び利用可能になります。

カメラがACコンセントに接続されていなくても、アクティビティゾーンとCVRの設定は保持されます。カメラを再接続したときに、CVRやアクティビティゾーンを再設定する必要はありません。カメラがACコンセントに接続されていない場合は、CVRを設定したりアクティビティゾーンを使用したりすることはできません。

Arloジオフェンスのトラブルシューティング

セットアップ環境は、各Arloユーザーによって異なります。ジオフェンスの最も一般的な問題は次のとおりです。

- モバイルデバイスがArloと位置情報を共有していません。「ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備する」(39ページ)を参照してください。
- ジオフェンスが有効になっているほかのモバイルデバイスがデバイスの場所のゾーン内にあるため、外出時に退席中モードがトリガーされません。「複数のモバイルデバイスでジオフェンスを使用する」(41ページ)を参照してください。
- モバイルデバイスの位置情報共有設定が変更されたため、ジオフェンスが動作を停止しました。「ジオフェンスを使用するためにモバイルデバイスを準備する」(39ページ)を参照してください。
- タスクキラーアプリが、Arloジオフェンスに干渉しています。ShutappやDozeなどのタスクキラーアプリが、Arloジオフェンスを無効にすることがあります。Arloジオフェンスを使用するには、Arloアプリの動作を抑制するアプリを無効にしてください。
- 友人のArloアカウントで使用しているモバイルデバイスで、ジオフェンスが機能しません。

友人としてほかのユーザーのArloアカウントでモバイルデバイスを使用している場合、Arloアカウントの所有者が次の操作を行った場合にのみ [ホーム]/[退席中] モードが変更されます。

- [アクセス権の許可] 設定をオンにする。「友人にアクセス権を付与する」(52ページ)を参照してください。
- ジオフェンスの設定で、あなたのデバイスを [有効なデバイス] として設定する。「友人のモバイルデバイスのジオフェンスを有効または無効にする」(42ページ)を参照してください。

引き続きジオフェンスの問題が改善されない場合Arloカスタマーサポートにお問い合わせください。

ブラウザでビデオストリームを見ることができない

Arlo Webクライアントは、Adobe Flashプラグインを使用してブラウザにビデオストリームを表示します。ブラウザがプラグインをブロックしていないこと、および最新バージョンのAdobe Flashを使用していることを確認してください。

Arloがデータを送信するポートをルーターがブロックしている場合があります。Arloの接続を確実に維持するには、ルーターのポート443および80が常に開いている必要があります。

ビデオストリームの問題をトラブルシューティングするには、次のセクションの条件を確認してください。「WiFi信号の干渉」(72ページ)、「範囲外」(72ページ)、および「バッテリー残量低下」(72ページ)。

WiFi信号の干渉

複数のWiFiネットワーク、WiFiデバイス、または周波数がある環境では、Arloシステムに信号の干渉が生じやすくなります。SmartHubやカメラを設置するエリアでは、ネットワーク、WiFiデバイス、および送信周波数の数を最小限に抑えます。

また、カメラはSmartHubから30~100 cm以上離し、カメラ同士は2 m以上離して設置し、デバイス間のWiFi信号が互いに干渉しないようにします。

範囲外

カメラがSmartHubから90 m以内にあることを確認してください。カメラとSmartHubの間に金属製の物体や厚い壁や天井があると、到達距離が短くなることがあります。

カメラを設置する予定のエリアで、カメラの信号強度表示が3~4本になっていることを確認してください。信号強度表示が1~2本でも動作しますが、頻繁に電波が届かなくなる可能性があります。

バッテリー残量低下

電池残量が少ないと、ビデオのストリームが途切れることがあります。Arloアプリの[デバイス] ページでバッテリー残量が2本になったら、バッテリーを充電するか交換してください。



プッシュ通知を受け取れない

モバイルデバイスでArloのアラートを受信するには、Arloアプリにログインする必要があります。ログインすると、デバイスがプッシュ通知の対象として登録されます。アプリを終了せずにArloアプリからログアウトした場合は、アプリにログインし直す必要があります。Arloの通知は、モバイルデバイスがスリープ中でも着信します。

[警戒] モードのルールを確認する

モード内のルールを確認します。[警戒] モードまたはカスタムモード (作成した場合) の [プッシュ通知] が有効になっていることを確認してください。

1. Arloアプリを起動します。
2. **[モード]** ボタンをタップします。

3. SmartHubを選択します。
モードのリストが表示されます。
4. [警戒]の横にある[編集]  をタップします。
5. ルールの横にある[編集]  をタップします。
6. [アラート]で、[プッシュ通知] チェックボックスが選択されていることを確認します。
7. 変更した場合は、[保存]をタップします。

iOSデバイスでArloアプリの通知設定を確認する

Arloアプリがプッシュ通知を受け取ることを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arloアプリプッシュ通知が無効になっていることがあります。

1. iOSデバイスの[設定]アイコンをタップします。
2. [通知] > [Arlo] をタップします。
3. [通知を許可] が選択されていることを確認します。

AndroidデバイスでArloアプリの通知設定を確認する

Arloアプリがプッシュ通知を受け取ることを許可していることを確認します。iOSまたはAndroidデバイスで、Arloアプリプッシュ通知が無効になっていることがあります。

1. Androidデバイスの[設定]アイコンをタップします。
2. [アプリケーションマネージャー] > [Arlo] をタップします。
3. [通知を表示]設定がオンになっていることを確認します。

インストール時にプッシュ通知を許可しなかった場合

アラートを受け取るには、Arloアプリの初回インストール時に、Arloからプッシュ通知を送信するかどうかを選択するメッセージが表示されたときに、[許可]を選択する必要があります。iOSアプリの場合は、このアラートに応答すると、デバイスが工場出荷時の設定に復元されるか、アプリがアンインストールされて1日以上経過しない限り、アラートが再度表示されることはありません。

iOSデバイスで許可しなかった場合は、アプリをアンインストールし、1日待ってから、再インストールして、通知を許可してください。アプリを再インストールするまで1日待ちたくない場合は、デバイスのシステムクロックを使って1日をシミュレートできます。システムクロックを1日以上進めるように設定し、デバイスの電源をオフにしてから、オンに戻してください。アプリを再インストールした後は、システムクロックを正しい設定に戻してください。

Arlo Smartアラーム検知が機能しない

煙感知器または一酸化炭素検出器のアラームが作動して検知されると、Arloアプリに通知が表示されます。この機能を使用するには、Arlo Smartサブスクリプションが必要です (「Ultraカメラで音声アラームを検出する」(43ページ)を参照)。

次のような状況では、カメラがアラームを検知しないことがあります。

- アラームがT3またはT4アラームパターンを出力しない。
- 複数の重複するアラームが出力されている。
- アラームの場所に反響が発生している。
- アラームと同等、またはそれ以上に大きい他のノイズが発生している。

Arlo SmartHubがオンラインであることを確認する

SmartHubがオンラインかどうか確認するには、SmartHubの前面にあるインターネットLEDを確認します。

- LEDが点灯している場合は、SmartHubがインターネットに接続されています。
- LEDがオレンジ色の場合は、SmartHubがインターネットに接続されていません。

Arlo SmartHubと同じ場所にいない場合は、Arloアカウントにログインします。

- 各カメラからビデオフィードが確認できれば、SmartHubがインターネットに接続されています。
- ビデオフィードではなく、エラーメッセージ (「SmartHubがオフラインです」など) が表示される場合は、SmartHubがインターネットに接続されていません。

SmartHubがオフラインです

SmartHubがオフラインであるかどうか不明な場合は、「Arlo SmartHubがオンラインであることを確認する」(74ページ)を参照してください。

1. LANケーブルをチェックします。
LANケーブルがSmartHubの背面とルーターにしっかりと接続されていることを確認します。また同梱のLANケーブルを使用していることも確認してください。
2. 電源アダプターをチェックします。
電源アダプターがSmartHubの背面にしっかりと接続され、コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認します。

3. ルーターに直接接続されている別のデバイスからインターネットに接続してみてください。

WiFiで接続されているデバイスではなく、LANケーブルに接続されているデバイスを試してみてください(デバイスでWiFiをオフにすると、デバイスがLANケーブルで接続されていることを確認できます)。次の手順を実行して、このデバイスからインターネットを閲覧できることを確認します。

- デバイスからインターネット接続できない場合、ルーターからのインターネット接続を回復させる必要があります。
- もしインターネット接続できる場合は、続けてトラブルシューティングを続けます。

4. SmartHubの電源を入れ直します。

コンセントから電源アダプターのプラグを抜き、1分待ってから電源アダプターをコンセントに再び接続します。SmartHubが起動するまでに1~2分かかります。

LEDが青色で点灯したら、SmartHubはインターネットに接続されています。LEDがオレンジ色の場合は、トラブルシューティングを続けます。

5. ルーターのDHCP設定とクライアントリストを確認します。

DHCPが有効になっていて、そのルーターのDHCPクライアントリストでSmartHubにIPアドレスが割り当てられていることを確認します(割り当てられている場合は、クライアントリストにSmartHubが表示されます)。詳細は、ルーターのマニュアルを参照してください。

6. 以前はSmartHubをインターネットに接続できていたのに、現在接続できない場合は、ルーターのセキュリティ設定とファームウェアを確認して、前回正常に接続していたときから変更が加えられていないことを確認してください。

ルーターのセキュリティ設定を一時的に下げるか、SmartHubを一時的にDMZに配置して、ファイアウォールの制限を排除することもできます。これらの変更を行った場合は、手順4の説明に従ってSmartHubの電源を入れ直します。

7. ルーターでポート443と80が開放されていることを確認します。

メモ: ご自分でインターネット環境を管理されていない場合、ファイアウォールやルーターの設定についてはIT部門に問い合わせてください。Arlo SmartHubは、ほとんどのプロキシサーバーを経由して接続できません。プロキシサーバーをバイパスする方法については、ITチームおよびインターネットサービスプロバイダー (ISP) に相談してください。ポート443と80を確実に開くよう、ITチームに依頼します。

8. SmartHubを出荷時の状態にリセットします。

詳細については、「[Arlo SmartHubを出荷時の設定にリセットする](#)」(76ページ)を参照してください。

それでもSmartHubに接続できない場合は、support.arlo.com を参照して、実行した手順を説明するサポートケースを送信します。次の情報を入力してください。

- SmartHubのシリアル番号。
- ユーザー名 (Arloアカウントで登録したメールアドレス)。
- インターネットサービスプロバイダー (ISP) の名前。
- インターネット接続タイプ (DSL、Cable など) とスピード (Arloでは最低で上り1 Mbps以上の速度が必要)。
- インターネット接続のルーターモデル名。
- ルーターに接続しているその他のデバイスのリスト。
- 最後にSmartHubでインターネットに正常に接続した日時と場所。

Arlo SmartHubを出荷時の設定にリセットする

出荷時設定へのリセットを実行すると、SmartHubはデフォルト設定に戻ります。またArloアカウントからシリアル番号が削除されます。

1. まっすぐに伸ばしたペーパークリップを使用して、SmartHubの背面にある**【リセット】** ボタンを約10秒間長押しします。

SmartHubのリセットが完了すると、SmartHubの前面にあるLEDがオレンジ色に点滅します。LEDのオレンジ色の点滅が停止すると、SmartHubが再起動します。このSmartHubがArloアカウントから削除されます。



2. SmartHubを追加してセットアップするには、LEDが青色に点灯するまで待ってから、Arloアプリを開きます。

3. **【初めてArloを使いますか?】** をタップします。

4. セットアップの指示に従います。

ArloカメラがSmartHubとペアリングされていた場合は、カメラをSmartHubに再度ペアリングする必要があります。

10. 充電式電池の安全性

充電式電池の安全な取り扱いと使用に関するガイドライン

電池は、分解、穿孔、切断、粉碎、ショート、焼却、(処分可能な電池を)再充電したり、水、火、または高温にさらされたりすると、破裂、発火、および/または火災を引き起こす恐れがあります。

最適な安全性と性能で使用するには

- **Arloが承認した電池のみを使用してください。** 交換用電池や充電器に互換性があるかどうか不明な場合は、Arloまでお問い合わせください。
- この電池は、本来の目的以外には**使用しないでください。**
- 電池のケースが損傷、膨張、または劣化している場合は、デバイスを**使用しないでください。**例: 漏れ、臭気、へこみ、腐食、錆、亀裂、膨張、溶解、摩耗など(これらに限定されません)。
- 分解したり、つぶしたり、穴を開けたり、外部接点をショートさせたり、火中や水中に廃棄したり**しないでください。**
- デバイスを火にさらしたり、60°Cを超える温度にさらしたり**しないでください。**高温になる可能性のある場所の近くにデバイスを置かないでください。例: 暖房器具、調理プレート、調理機器、アイロン、加熱器、暖炉などの上や近く(これらに限定されません)。
- 電池やデバイスを**濡らさないでください。**電池やデバイスが乾いていて正常に動作しているように見えても、回路がゆっくりと腐食し、安全回路が機能しなくなる場合があります。
- 鍵、貴金属、工具などの金属製の物が入ったポケット、財布、またはその他の容器に電池を、**入れないでください。**
- 危険物や可燃性物質と一緒に電池を**保管しないでください。**涼しく乾燥した風通しのよい場所に保管してください。
- 電池は**常にお子様の手が届かないところで保管してください。**
- 電池は**逆に入れないようにしてください。**電池を挿入する前に、電池ケースが空で、湿気やごみがないことを**確認してください。**

- 電池やArloデバイスを**落とさないようにしてください**。特に、硬い面に落とすと電池やArloデバイスが損傷する可能性があります。電池やArloデバイスが損傷したと思われる場合は、交換してください。
- クイックスタートガイド、およびArlo製品のユーザーマニュアルに記載されている指示に**必ず**従ってください。
- Arloの使用済みの電池を廃棄する場合は、地域の廃棄物およびリサイクルに関する法律およびガイドラインに**必ず**従ってください。

サポート

製品のアップデートおよびウェブサポートについては、
<http://www.arlo.com/jp/support/> を参照してください。

Arlo Technologies, Inc.
2200 Faraday Ave. Suite 150
Carlsbad, CA 92008 USA

ドキュメント発行日: 2019年10月
PN 202-11894-03

商標

© Arlo Technologies, Inc. Arlo、Arloロゴ、およびEvery Angle CoveredはArlo Technologies, Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。HomeKitはApple Inc.の商標です。HomeKitを使用してこのアクセサリを制御する場合は、iOS 10.2以降を推奨します。Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。他の商標は参照目的のために記載されています。

製品上のApple HomeKitロゴは、iPod touch、iPhone、iPadに接続して使用する電子アクセサリであり、Appleの性能基準を満たしていることをメーカーが認定していることを意味します。Appleは本製品の動作、安全上および規制上の規格への準拠について責任を負いません。

適合性

EU適合宣言書などの法規制遵守情報については、www.arlo.com/about/regulatory/ を参照してください。

本製品をお使いになる前に、適合性の情報をお読みください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B